



Cisco Prime ネットワーク解析モジュール ソフトウェア 5.1(2) リリース ノート

2012 年 5 月 18 日、OL-25929-03-J

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このリリース ノートには、Cisco Prime ネットワーク解析モジュール ソフトウェア 5.1(2) についての全般的情報が記載されています。

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

- 「新機能および変更情報」 (P.2)
- 「Cisco Prime ネットワーク解析モジュール 5.1(2) の新機能および拡張」 (P.2)
- 「NAM のプラットフォーム」 (P.2)
- 「システム要件」 (P.4)
- 「NAM 5.1(2) へのアップグレード」 (P.11)
- 「制限事項」 (P.22)
- 「警告」 (P.27)
- 「マニュアルの更新」 (P.32)
- 「マニュアル」 (P.35)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.41)

新機能および変更情報

2012年5月18日	NAM-3/SUP2T のお客様用に NAM FPD イメージの手順を追加しました。
2012年4月6日	SM-SRE 710 および 910 サポートを更新しました。
2011年10月6日	初回リリース

Cisco Prime ネットワーク解析モジュール 5.1(2) の新機能および拡張

Cisco Prime ネットワーク解析モジュール 5.1(2) が高パフォーマンスの Cisco Catalyst 6500 シリーズ Network Analysis Module (WS-SVC-NAM3-6G-K9) をサポートするようになりました。このリリースでは、高速かつ高密度の Catalyst 6500 Campus Backbone および Data Center 環境において、高パフォーマンス アプリケーションの可視性とトラブルシューティングが統合されています。

NAM 5.1(2) は、物理および仮想スイッチ環境の可視性を増大し、物理および VSS スイッチング環境での Catalyst 6500 の運用管理機能を向上させます。

その他にも次のような機能があります。

- 音声および RTP モニタリングのための ERSPAN データをサポートします。
- 60k までの RTP ストリームと 30k までのコールをモニタできます。
- WebEx 関連セッションを単一のコールに統合します。
- 1588 の時刻の同期をサポートします。
- Mini SAS コネクタまたは 10 GbE FCoE ポートを使用して、外部ストレージをサポートします。

このリリースは、すべてのプラットフォーム（ブラインドリビジョンとして）でサポートされます。

NAM のプラットフォーム

メモリ、パフォーマンス、ディスク サイズその他の機能が異なる、以下のようなモデルがあります。このため、提供できる機能には差があります（キャプチャに割り当てられるメモリの量など）。

NAM 5.1(2) ソフトウェアは、以下の NAM モデル（SKU）をサポートします。

- Cisco NAM 2204 アプライアンス
 - NAM2204-RJ45
 - NAM2204-SFP
- Cisco NAM 2220 アプライアンス
 - NAM2220
- Catalyst 6500 シリーズ スイッチおよび Cisco 7600 シリーズ ルータ
 - WS-SVC-NAM-1
 - WS-SVC-NAM-1-250S
 - WS-SVC-NAM-2

- WS-SVC-NAM-2-250S
- WS-SVC-NAM3-6G-K9
- Cisco ブランチ ルータ
 - NME-NAM-120S
- Cisco SRE NAM
 - SM-SRE-700 および 710
 - SM-SRE-900 および 910
- Cisco WAAS NAM 仮想サービス ブレード
 - WAVE-574
 - WAE-674
- Cisco Nexus 1010 仮想サービス ブレード
 - N1K-C1010

表 1 に NAM 5.1(2) のソフトウェア製品番号を示します。更新された NAM 5.1(2) ソフトウェアは、ブラインドリビジョンであるため、NAM 5.1 のその他すべての部品番号で使用できます。

表 1 ソフトウェア製品番号

部品番号	説明
SC-SVC-NAM3-5.1-K9	Catalyst 6500 および Cisco 7600 NAM 用の Cisco NAM 5.1(2)
NAM-APPL-SW-5.1-K9	アプライアンス用の Cisco NAM 5.1(2) およびリカバリ CD
NME-NAM-SW-5.1-K9	ブランチ ルータ NAM 用の Cisco NAM 5.1(2)
WAAS-VB-NAM5.1-K9	WAAS 574/674 用の Cisco NAM ソフトウェア 5.1(2)
WAAS-VB-NAM5.1-K9=	WAAS 574/674 スペア用の Cisco NAM ソフトウェア 5.1(2)
L-WAAS-VBNAM-5.1-K9	WAAS 574/674 (eDelivery) 用の Cisco NAM ソフトウェア 5.1(2)
N1K-C1010NAM5.1-K9	Nexus 1010 用の Cisco NAM 仮想サービス ブレード ソフトウェア 5.1(2)
N1K-C1010NAM5.1-K9=	Nexus 1010 スペア用の Cisco NAM 仮想サービス ブレード ソフトウェア 5.1(2)
L-N1KC10NAM5.1-K9=	Nexus 1010 (eDelivery) 用の Cisco NAM 仮想サービス ブレード ソフトウェア 5.1(2)
SM-NAM-SW-5.1-K9	ISR G2 SRE SM 用の Cisco NAM 5.1(2)
L-SM-NAM-SW-5.1-K9=	ISR G2 SRE SM (eDelivery) 用の Cisco NAM 5.1(2)

NAM 5.1(2) ソフトウェアでは、NAM 3.x または NAM 4.x リリースからのアップグレードパスはサポートしていません。

システム要件

この項では、NAM 5.1(2) ソフトウェアで必要となるプラットフォーム ハードウェア、プラットフォーム ソフトウェア、NAM ハードウェア、および NAM ソフトウェアを示します。

- 必要なプラットフォーム ハードウェア
- 「必要なプラットフォーム ソフトウェア」(P.6)
- 「WAAS アプライアンスの要件」(P.7)
- 「NAM SRE の要件」(P.7)
- 「Catalyst 6500 NAM-1 および NAM-2 の推奨メモリ」(P.8)
- 「推奨のデータ ストレージ」(P.8)
- 「ブラウザ要件」(P.9)
- 「HTTP セキュア サーバを使用した NAM への接続」(P.9)
- 「Catalyst 6500 および Cisco 7600 の NAM-1 と NAM-2 のメンテナンス イメージおよび BIOS 要件」(P.10)
- 「NAM のライセンス要件」(P.10)

必要なプラットフォーム ハードウェア

表 2 に、NAM 5.1(2) を使用するために必要なハードウェア モジュールおよびプラットフォームを示します。

サポートされるこれらのプラットフォームで NAM 5.1(2) ソフトウェアを実行するには、1 GB 以上のメモリが必要です。

表 2 NAM のハードウェア互換性

モジュール	スーパーバイザ カード	プラットフォームまたはデバイス
WS-SVC-NAM-1 WS-SVC-NAM-1-250S WS-SVC-NAM-2 WS-SVC-NAM-2-250S	SUP720 SUP32 RSP720-1G SUP720-10G RSP720-10G	<ul style="list-style-type: none"> • Catalyst 6500 シリーズ スイッチ • Cisco 7600 シリーズ ルータ
WS-SVC-NAM3-6G-K9	SUP720-10G	<ul style="list-style-type: none"> • Catalyst 6500E シリーズ スイッチ
NME-NAM-120S	NA	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco 2800 シリーズ サービス統合型ルータ (Cisco 2801 を除く) • Cisco 2900 シリーズ サービス統合型ルータ (Cisco 2901 を除く) • Cisco 3700 シリーズ マルチサービス アクセス ルータ • Cisco 3800 シリーズ サービス統合型ルータ • Cisco 3900 シリーズ サービス統合型ルータ
SM-SRE-700 および SM-SRE-710	NA	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco 2900 シリーズ サービス統合型ルータ
SM-SRE-900 および SM-SRE-910	NA	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco 3900 シリーズ サービス統合型ルータ

Cisco サービス統合型ルータでの NME-NAM の使用

この項では、Cisco サービス統合型ルータ（ISR）および ISR Generation Two（G2）のプラットフォームで NME-NAM を使用するための要件を示します。

表 3 に示された Cisco ルータ プラットフォームの任意のネットワーク モジュール スロットに、NME-NAM-120S を導入できます。サポートされている ISR G2 プラットフォームに NME-NAM を正しく組み込むには、ネットワーク モジュール（NM）アダプタ カード、SM-NM-ADPTR が必要です。NME-NAM は、NAM 3.6 以降を使用してこれらのルータ プラットフォームをサポートします。NME-NAM をサポートする必要最低限の IOS ソフトウェア バージョンについては、表 5、「NAM 5.1(2) で必要となる Cisco ISR および ISR G2 IOS の最低バージョン」を参照してください。Cisco プランチ ルータに取り付けることができる Cisco NAM は 1 つだけです。

表 3 サポートされるルータ

ルータ プラットフォーム	ネットワーク モジュール アダプタ カードの要否
Cisco 3945 ISR	Yes
Cisco 3925 ISR	Yes
Cisco 2951 ISR	Yes
Cisco 2921 ISR	Yes
Cisco 2911 ISR	Yes
Cisco 3845 ISR	No
Cisco 3825 ISR	No
Cisco 2851 ISR	No
Cisco 2821 ISR	No
Cisco 2811 ISR	No
Cisco 3745 MSR	No
Cisco 3725 MSR	No

NM アダプタ カードを使用して、サポートされている ISR G2 プラットフォームに NME-NAM-120S ネットワーク モジュールを取り付ける方法については、『*Installing Cisco Network Modules and Service Modules*』の「Using Network Modules in Service Module Slots on Cisco 2900 Series and Cisco 3900 Series Routers」の項を参照してください。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/access/interfaces/nm/hardware/installation/guide/InstNetM.html>

必要なプラットフォーム ソフトウェア

表 4 に、「NAM 5.1(2) で必要となる Cisco Catalyst 6500 および Cisco 7600 シリーズの IOS の最低バージョン」を示します。

表 4 NAM 5.1(2) で必要となる Cisco Catalyst 6500 および Cisco 7600 シリーズの IOS の最低バージョン

シャーシ	スーパーバイザ カード	SXF	SXH	SXI	SXJ	SRA	SRB	SRC	その他
Catalyst 6500 スイッチ	SUP32	12.2(18) SXF	12.2(33) SXH(1)	12.2(33) SXI					
	SUP 32 PISA								12.2(18) ZY(1)
	SUP720	12.2(18) SXF	12.2(33) SXH(1)	12.2(33) SXI					
	SUP720-10GE		12.2(33) SXH(1)	12.2(33) SXI	12.2(33) SXJ(1) ¹				
7600 シリーズ ルータ	SUP32	12.2(18) SXF				12.2(33) SRA(1)	12.2(33) SRB(1)	12.2(33) SRC	
	SUP720	12.2(18) SXF				12.2(33) SRA(1)	12.2(33) SRB(1)	12.2(33) SRC	
	RSP720-1G							12.2(33) SRC	
	RSP720-10GE								12.2(33) SRD

1. NAM-3 ではこのバージョンのみ使用可能です。

表 5 に、NME-NAM-120S での「NAM 5.1(2) で必要となる Cisco ISR および ISR G2 IOS の最低バージョン」を示します。

表 5 NAM 5.1(2) で必要となる Cisco ISR および ISR G2 IOS の最低バージョン

ルータ プラットフォーム	IOS バージョン
Cisco 2800 シリーズ サービス統合型ルータ	12.4(9)T
Cisco 2900 シリーズ サービス統合型ルータ	15.0(1)M
Cisco 3700 シリーズ マルチサービス アクセス ルータ	12.4(9)T
Cisco 3800 シリーズ サービス統合型ルータ	
Cisco 3900 シリーズ サービス統合型ルータ	15.0(1)M

仮想スイッチ システムで必要となる NAM および IOS ソフトウェア

表 6 に、Cisco 仮想スイッチ システム (VSS) 環境で使用する NAM ブレードに必要となる NAM および IOS ソフトウェアを示します。

表 6 VSS で必要となる NAM および IOS ソフトウェア

NAM	NAM ソフトウェア	IOS ソフトウェア
WS-SVC-NAM-1	NAM 3.6.1a 以降	IOS 12.2(33) SXH(1) 以降 5.1-K9
WS-SVC-NAM-2		
WS-SVC-NAM-1-250S	NAM 3.6.1b 以降	
WS-SVC-NAM-2-250S		
WS-SVC-NAM3-6G-K9	NAM 3.6.1b 以降	12.2(33)SXJ1

WAAS アプライアンスの要件

NAM 5.1(2) は、WAVE-574 および WAE-674 WAAS アプライアンスをサポートしています。表 7 に、Cisco WAAS アプライアンス、そのコンポーネント、および導入シナリオを示します。WAAS アプライアンスには、次のソフトウェアが必要です。

- Central Manager : WAAS 4.2.3 (ビルド 55 以降)
- Managed WAAS : WAAS 4.2.3 (以降)

表 7 Cisco WAAS アプライアンス

プラットフォーム	コンポーネント	展開シナリオ
Cisco WAVE-574	<ul style="list-style-type: none"> • 3 GB または 6 GB の DRAM • 500 GB のハード ディスク ドライブ • RAID-1 (オプション) • 2 および 4 ポートのインライン カード (オプション) • WAAS-VB-NAM-5.0 	<ul style="list-style-type: none"> • 企業のブランチ オフィスでのエッジ導入 • 小規模データセンターへのコア導入
Cisco WAE-674	<ul style="list-style-type: none"> • 4 GB または 8 GB の DRAM • 600 GB の HDD • RAID-5 (オプション) • 4 ポートのインライン カード (オプション) • WAAS-VB-NAM-5.0 	<ul style="list-style-type: none"> • 大企業のブランチ オフィスへのエッジ導入 • 中規模データセンターへのコア導入

NAM SRE の要件

NAM 5.1(2) は、Cisco SRE (Service Ready Engine)、SM-SRE-700/710 および SM-SRE-900/910 をサポートしています。Cisco® Services Ready Engine (SRE) モジュールは、第 2 世代シスコ サービス統合型ルータ (ISR G2) のルータ ブレードで、ホストの Cisco、サードパーティ、およびカスタム アプリケーションに機能を提供します。

Cisco SRE モジュールのハードウェア要件については、Cisco.com の「[Cisco Services-Ready Engine Data Sheets](#)」を参照してください。

Catalyst 6500 NAM-1 および NAM-2 の推奨メモリ

NAM ソフトウェア、特に大きなテーブル サイズに対応する新機能を備えた NAM 5.x リリースについて、パフォーマンスを最適化するため、シスコでは、現場で取り付け可能なメモリ アップグレード キットをご用意しています。これは WS-SVC-NAM-1 および WS-SVC-NAM-2 デバイス用として購入できます。メモリ アップグレード キットには 2 GB の DRAM が付属しています。部品番号は MEM-C6KNAM-2GB= です。

シスコでは、メモリ アップグレードを、モニタ可能なホストとカンパセーションの数を 2 倍まで増大できるものとして位置付けています（増大できる数は、モニタするパケット サイズ、トラフィックのバースト性、イネーブルする NAM 機能、イネーブルするスイッチおよびルータの機能などによって異なります）。メモリ アップグレードにより、モニタするホストとカンパセーションの数を増大できるだけでなく、その増大の結果、モニタできる同時発生フローの数も増加させることができます。このため、大量の同時発生フローが存在するネットワークに NAM が導入されている場合に、NAM のパフォーマンスを改善できます。

メモリのアップグレード方法の詳細については、次の URL のドキュメント、「[NAM Memory Upgrade Install Note](#)」を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/switches/lan/catalyst6500/hardware/Config_Notes/78_18630.html

工場出荷時からすでに 2 GB の DRAM が搭載されている WS-SVC-NAM-1-250S および WS-SVC-NAM-2-250S には、メモリ アップグレード キットは用意されていません。

推奨のデータ ストレージ

Cisco Catalyst 6500 シリーズ Network Analysis Module (WS-SVC-NAM3-6G-K9) は、キャプチャの持続時間を長くし、キャプチャの帯域を高くするため、外部ストレージの接続が可能です。この接続には、前面パネルにある 2 つのポート、Mini Serial Attached SCSI (SAS、SFF-8088) と Fibre Channel Over Ethernet (FCoE、SFP+) を使用します。外部 SAS ストレージ アレイが直接接続できるのに対し、FCoE アレイでは大部分の場合、NAM-3 への接続に FCoE 対応スイッチ (Nexus 5000 シリーズスイッチなど) が必要です。Nexus 5000 シリーズスイッチは複数の FC および FCoE ストレージ アレイに接続できます。

FCoE ストレージを使用する場合、シスコでは、Nexus 5000 シリーズスイッチを NX-OS 5.0(3)N1(1) 以降で稼働することを推奨します。

また、iSCSI はスイッチのバックプレーンでサポートされています。

表 8 FCoE データ ストレージ

モジュール	FCoE アレイで使用されるスイッチ	NX-OS ソフトウェアのバージョン
WS-SVC-NAM3-6G-K9	Nexus 5000 シリーズ スイッチ その他の FCoE 対応スイッチ	5.0(3)N1(1)

ブラウザ要件

表 9 に、すべてのプラットフォームのブラウザ要件を示します。

表 9 必要最低限のブラウザ バージョン

ブラウザ	バージョン	クライアント プラットフォーム ¹	JVM サポート ²	Adobe Flash
Internet Explorer	8.0 (7.0 は非サポート)	<ul style="list-style-type: none"> Windows 7 Windows XP Professional 	Java Plug-In 1.5.0_11	バージョン 10.1 以降
英語版 Firefox	3.6 (4.0 は非サポート)	<ul style="list-style-type: none"> Windows 7 Windows XP Professional Linux (RHEL) Macintosh OSX 10.6 以降 		

1. NAM の理想的な GUI パフォーマンスのためには、4 GB 以上のメモリを使用することを推奨します。
2. Java 仮想マシン (JVM) を使用するには、場合によっては Java プラグインが必要です。



(注)

NAM には Java プラグインは必要ありませんが、場合によっては Java 仮想マシン (JVM) を使用する必要があります。リストした Java プラグインのバージョンは、JVM のプラグインが必要なブラウザでテスト済みです。シスコでは、JRE Version 5.0 Update 6 を推奨します。

HTTP セキュア サーバを使用した NAM への接続

NAM CLI を使用してセキュア サーバをイネーブルにすると、HTTPS を使用して NAM に接続できません。暗号化パッチが同梱されている SM-SRE および WS-SVC-NAM-3 を除き、すべてのプラットフォームでこの機能をイネーブルにするには、Cisco.com から強力な暗号化パッチをダウンロードしてください。詳細については、[NAM installation guide](#) を参照してください。

NAM は、ポート 443 でのセキュアな接続をイネーブルにする自己署名証明書を同梱して出荷されません。HTTPS を使用するよう NAM を設定すると、クライアントのブラウザは HTTPS を使用して NAM に接続できます。すべてのブラウザは最初の接続時に自己証明書に対して例外を生成するため、続行するには [OK] を選択して例外を受け入れる必要があります。

Firefox ブラウザを使用して HTTPS ページまたは SSH を使用する CLI にアクセスするときに、以前に NAM サイトに対して証明書が生成済みの場合は、新しい暗号化パッチを適用した後で、`sec_error_reused_issuer_and_serial` エラーが表示される場合があります。

このエラーを回避するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 [Tools] > [Options] > [Advanced] を選択し、[View Certificates] を選択します。
- ステップ 2 [Servers] タブで証明書を削除します。
- ステップ 3 [Authorities] タブで、トラブルが発生しているデバイスの認証局 (CA) を特定し、削除します。
- ステップ 4 シスコでは、この問題を解決するために、以下を実行することを推奨しています (この手順はオプションですが、推奨します)。
 - a. NAM CLI で `ip http secure generate` を入力し、証明書を生成します。

b. **ip http secure install** を入力し、署名証明書をインストールします。

この手順の実行後、再接続時に例外メッセージが再度表示されます。最後にもう 1 度だけ、この例外を確認する必要があります。

Catalyst 6500 および Cisco 7600 の NAM-1 と NAM-2 のメンテナンスイメージおよび BIOS 要件

表 10 に、NAM アプリケーション イメージ 5.1(2) を使用する場合に NAM-1 および NAM-2 に必要となる、NAM メンテナンス イメージ、メンテナンス イメージ ファイル名、および BIOS イメージの最低バージョンを示します。

表 10 NAM メンテナンス イメージ

モジュール	バージョン (最低)	メンテナンス イメージ	BIOS バージョン
WS-SVC-NAM-1	2.1(5)	c6svc-nam-maint.2-1-5.bin.gz	4.0-Rel 6.0.9 以降
WS-SVC-NAM-2			

BIOS イメージは NAM のメンテナンス イメージにバンドルされています。

このリリース ノートの [NAM 5.1\(2\)](#) への [アップグレード](#) の項には、以下に関する情報が記載されています。

- Catalyst 6500 および Cisco 7600 NAM の BIOS イメージのバージョンを特定する方法
- Catalyst 6500 および Cisco 7600 NAM のメンテナンス イメージをアップグレードする方法
- Catalyst 6500 および Cisco 7600 NAM の BIOS イメージをアップグレードする方法
- NAM のアプリケーション イメージをアップグレードする方法

NAM のライセンス要件

WAAS、Nexus 1010、および SRE の NAM ソフトウェアを使用するには、テキスト ファイル形式の製品ライセンスをインストールする必要があります。評価ライセンスでは、最大 60 日間ソフトウェアを使用できますが、評価ライセンスの期限が切れると、NAM GUI にログインできなくなります。評価ライセンスを使用している場合は、NAM ログイン ウィンドウに、評価ライセンスの期限が切れるまでの日数が表示されます。

ライセンス情報 (ノード ロック情報) は、NAM CLI を使用したソフトウェアのインストール中か、またはソフトウェアのインストール後に指定できます。NAM ソフトウェアのインストール中に、製品 ID (PID) とシリアル番号 (SN) を入力するように求められます。ライセンスのために PID および SN を入手するには、CLI で **NAM show inventory** コマンドを使用します。

NAM ライセンスを入手するには、次の URL にアクセスします。

<http://www.cisco.com/go/license>

このページに記載されている手順に従って、NAM ライセンス ファイルを入手します。ライセンス ファイルを入手するには、アブライアンスの PID と SN が必要です。PID と SN を入力するか、製品認証キーを入力すると、ライセンス ファイルが E メールで送信されます。このライセンス ファイルを使用可能な FTP サーバに格納します。NAM ソフトウェアのインストールが完了した後に **license install** コマンドを使用して、ライセンスをインストールします。

NAM 5.1(2) へのアップグレード

この項では、次の内容について説明します。

- 「サポートされるアップグレード」 (P.11)
- 「NAM ソフトウェアのインストール」 (P.12)
- 「Catalyst 6500 および Cisco 7600 の NAM-1 と NAM-2 メンテナンス イメージ ソフトウェアのアップグレード」 (P.13)
- 「Catalyst 6500 および Cisco 7600 の NAM-1 と NAM-2 BIOS イメージ ソフトウェアのアップグレード」 (P.15)
- 「Catalyst 6500 シリーズ スイッチ用の ROMMON のアップグレード」 (P.17)
- 「NAM-3/SUP2T 用の NAM FPD イメージのアップグレード」 (P.18)

サポートされるアップグレード

NAM 5.1(2) では、NAM デバイスでの NAM 3.x または NAM 4.x ソフトウェア リリースからのアップグレードはサポートされていません。NAM 3.x または NAM 4.x リリースを使用している場合は、NAM 5.1(2) のフレッシュ インストールを行う必要があります (次の項、[NAM ソフトウェアのインストール](#)を参照)。また、NAM 5.1(2) のアーキテクチャが一新されたため、NAM 3.x または NAM 4.x からアップグレードする場合は、NAM に現在行っている設定が失われます。シスコでは、NAM の前バージョンに戻る必要が生じた場合に備えて、現在の設定をバックアップしておくことを強く推奨します。これにより、保存した設定を復元できます。

現在の設定をバックアップするには、NAM コマンドラインで、次のように `config upload` コマンドを入力します。

```
config upload ftp://server/path
```

`config upload` コマンドは、NAM の現在の設定のコピーを、指定した宛先に送信します。この情報は、`NAM_host-c6svc-nam-3.6.1b.confg` のように、末尾に `.confg` のサフィックスを付けたバックアップ設定ファイルに格納されます。宛先のアドレスは、有効なサーバ名とディレクトリパスである必要があります。



(注)

Cisco Nexus 1010 Virtual Services Appliance は、NAM 5.0 ではサポートされていません。したがって、Nexus 1010 を使用する場合には、NAM 4.x から NAM 5.0 へのアップグレードはサポートされていないため、NAM 5.1(2) のフレッシュ インストールを行う必要があります。

NAM 5.0(1T) から NAM 5.1(2) へのアップグレード

NAM ソフトウェアを NAM 5.0(1T) から NAM 5.1(2) にアップグレードするには、CLI またはヘルパー イメージを使用します。

NAM 5.1(1) から NAM 5.1(2) へのアップグレード

いくつかのプラットフォームで、NAM ソフトウェアを NAM 5.1(1) から NAM 5.1(2) にアップグレードできます。表 11 に、NAM を稼働するプラットフォームに応じて実行できる方法を示します。

表 11 プラットフォーム別のアップグレード方法

NAM のプラットフォーム	アップグレード方法 (NAM 5.1(1) からから NAM 5.1(2))
NAM ブレード (NAM-1、NAM-1x、NAM-2、NAM-2x)	メンテナンス イメージからのアップグレード
NME NAM	ヘルパー イメージからのアップグレード
NAM 2220 および 2204 シリーズ アプライアンス	CLI またはヘルパー イメージからのアップグレード
WAAS VB の NAM	ヘルパー イメージからのアップグレード
Nexus 1010 での NAM ¹	CLI またはヘルパー イメージからのアップグレード
NAM SRE	CLI またはヘルパー イメージからのアップグレード

1. パフォーマンスを最適化するため、NAM 5.1(2) に対しては nexus-1010.4.2.1.SP1.3 のソフトウェアバージョンの使用を推奨します。

NAM ソフトウェアのインストール

NAM のフレッシュ インストールを行う場合は、ご使用のプラットフォームに固有のインストール ション コンフィギュレーション ガイドを参照してください。



(注)

必ず「NAM 5.1(2) のインストール/設定のガイド/ノートの更新」(P.33) でインストールの更新内容を確認してください。この情報は、下記のガイドには記載されていません。

Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ用の URL は次のとおりです。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/cscowork/ps5401/tsd_products_support_series_home.html

Cisco 2200 シリーズ アプライアンス用の URL は次のとおりです。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10113/prod_installation_guides_list.html

WAAS NAM 仮想ブレード用の URL は次のとおりです。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10506/prod_installation_guides_list.html

Nexus 1010 の NAM 用の URL は次のとおりです。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10846/prod_installation_guides_list.html

NAM SRE 用の URL は次のとおりです。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10598/prod_module_series_home.html

その他すべてのプラットフォーム用の URL は次のとおりです。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/cscowork/ps5401/tsd_products_support_series_home.html

Catalyst 6500 および Cisco 7600 の NAM-1 と NAM-2 メンテナンス イメージ ソフトウェアのアップグレード

NAM メンテナンス イメージ ソフトウェアをアップグレードするには、次の手順を実行します。



(注)

この項は、バージョン 2.1(5) より前のメンテナンス イメージを実行している WS-SVC-NAM-1 および WS-SVC-NAM-2 ブレードにのみあてはまります。

- ステップ 1** NAM メンテナンス ソフトウェア イメージを FTP からアクセス可能なディレクトリにコピーします。NAM メンテナンス イメージの最新バージョンは、次の URL からダウンロードできます。
- <http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/ws-svc-nam>
- ダウンロードできる最新の NAM メンテナンス イメージ ソフトウェアは 2.1(5) で、ファイル名は **c6svc-nam-maint.2-1-5.bin.gz** です。
- ステップ 2** コンソール ポートから、または Telnet セッションを使用して、スイッチにログインします。
- ステップ 3** NAM をアプリケーション イメージで実行する場合は、**ステップ 5** に移動します。NAM をアプリケーション イメージで実行しない場合は、次のコマンドを特権モードで入力します。
- ```
Router# hw-module module 9 reset hdd:1
Device BOOT variable for reset = hdd:1
Warning:Device list is not verified.
```
- ```
Proceed with reload of module? [confirm]
% reset issued for module 9
Router#
00:31:11:%SNMP-5-MODULETRAP:Module 9 [Down] Trap
00:31:11:SP:The PC in slot 9 is shutting down. Please wait ...
00:31:25:SP:PC shutdown completed for module 9
00:31:25:%C6KPWR-SP-4-DISABLED:power to module in slot 9 set off (admin request)
00:31:28:SP:Resetting module 9 ...
00:31:28:%C6KPWR-SP-4-ENABLED:power to module in slot 9 set on
00:33:26:%SNMP-5-MODULETRAP:Module 9 [Up] Trap
00:33:26:%DIAG-SP-6-BYPASS:Module 9:Online Diagnostics is Bypassed
00:33:26:%OIR-SP-6-INSCARD:Card inserted in slot 9, interfaces are now online
```
- ステップ 4** NAM が再びオンラインになったら、NAM とのコンソール セッションを開始し、root アカウントでログインします。
- ステップ 5** 次のようにして NAM メンテナンス イメージ ソフトウェアをアップグレードします。
- ```
root@localhost# upgrade ftp-url
```
- ここで、*ftp-url* は NAM ソフトウェア イメージ ファイルの FTP ロケーションおよび名前です。
- (注) FTP サーバで **anonymous** ユーザを使用できない場合は、*ftp-url* の値として構文 **ftp://user@host//absolute-path/filename** を使用します。プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
- ステップ 6** 画面に表示されるプロンプトに従って、アップグレードします。
- ステップ 7** アップグレードが完了したら、NAM からログアウトします。

- ステップ 8** NAM メンテナンス イメージ ソフトウェアをリセットするため、次のようなコマンドを使用して、新しいメンテナンス イメージをブートします。

```
Router# hw-module module 9 reset cf:1
Device BOOT variable for reset = cf:1
Warning:Device list is not verified.

Proceed with reload of module? [confirm]
% reset issued for module 9

Router#
00:16:06:%SNMP-5-MODULETRAP:Module 9 [Down] Trap
00:16:06:SP:The PC in slot 9 is shutting down. Please wait ...
00:16:21:SP:PC shutdown completed for module 9
00:16:21:%C6KPWR-SP-4-DISABLED:power to module in slot 9 set off (admin request)
00:16:24:SP:Resetting module 9 ...
00:16:24:%C6KPWR-SP-4-ENABLED:power to module in slot 9 set on
00:18:21:%SNMP-5-MODULETRAP:Module 9 [Up] Trap
00:18:21:%DIAG-SP-6-BYPASS:Module 9:Online Diagnostics is Bypassed
00:18:21:%OIR-SP-6-INSCARD:Card inserted in slot 9, interfaces are now online
Router#
```

- ステップ 9** (オプション) NAM が再びオンラインになった後で初期設定を確認するには、次のように NAM の root アカウントにログインします。

```
root@localhost# show ip
```

- ステップ 10** (オプション) 次のようにアプリケーション イメージをリブートします。

```
Router# hw-module module 9 reset
```

次の例は、NAM メンテナンス イメージ ソフトウェアのアップグレード方法を示しています。

```
Router#
Router# hw-module module 9 reset hdd:1
Device BOOT variable for reset = hdd:1
Warning:Device list is not verified.

Proceed with reload of module? [confirm]
% reset issued for module 9
Router#
00:31:11:%SNMP-5-MODULETRAP:Module 9 [Down] Trap
00:31:11:SP:The PC in slot 9 is shutting down. Please wait ...
00:31:25:SP:PC shutdown completed for module 9
00:31:25:%C6KPWR-SP-4-DISABLED:power to module in slot 9 set off (admin request)
00:31:28:SP:Resetting module 9 ...
00:31:28:%C6KPWR-SP-4-ENABLED:power to module in slot 9 set on
00:33:26:%SNMP-5-MODULETRAP:Module 9 [Up] Trap
00:33:26:%DIAG-SP-6-BYPASS:Module 9:Online Diagnostics is Bypassed
00:33:26:%OIR-SP-6-INSCARD:Card inserted in slot 9, interfaces are now online
Router#

Router# session slot 9 proc 1
The default escape character is Ctrl-^, then x.
You can also type 'exit' at the remote prompt to end the session
Trying 127.0.0.91 ... Open

Cisco Network Analysis Module (WS-SVC-NAM-2)

login:root
```

```

Password:

Cisco Network Analysis Module (WS-SVC-NAM-2) Console, 5.0
Copyright (c) 2010 by cisco Systems, Inc.

WARNING! Default password has not been changed!
root@localhost.cisco.com#

root@localhost.cisco.com# upgrade ftp://host/pub/c6svc-nam-maint.2-1-5.bin.gz

Downloading image...
ftp://host/pub/c6svc-nam-maint.2-1-5.bin.gz (11065K)
- [#####] 11065K | 837.65K/s
11331153 bytes transferred in 13.21 sec (837.64k/sec)

Uncompressing the image...

Verifying the image...

Applying the Maintenance image.
This may take several minutes...

Upgrade of Maintenance image completed successfully.
root@hostname.cisco.com# exit

Router# hw-module module 9 reset cf:1
Device BOOT variable for reset = cf:1
Warning:Device list is not verified.

Proceed with reload of module? [confirm]
% reset issued for module 9
Router#
02:27:19:%SNMP-5-MODULETRAP:Module 9 [Down] Trap
02:27:19:SP:The PC in slot 9 is shutting down. Please wait ...
02:27:36:SP:PC shutdown completed for module 9
02:27:36:%C6KPWR-SP-4-DISABLED:power to module in slot 9 set off (admin
request)
02:27:39:SP:Resetting module 9 ...
02:27:39:%C6KPWR-SP-4-ENABLED:power to module in slot 9 set on
02:29:37:%SNMP-5-MODULETRAP:Module 9 [Up] Trap
02:29:37:%DIAG-SP-6-BYPASS:Module 9:Online Diagnostics is Bypassed
02:29:37:%OIR-SP-6-INSCARD:Card inserted in slot 9, interfaces are now
online
Router#

```

## Catalyst 6500 および Cisco 7600 の NAM-1 と NAM-2 BIOS イメージ ソフトウェアのアップグレード



(注) この項は、バージョン 6.0.9 より前の BIOS イメージを実行している WS-SVC-NAM-1 ブレードおよび WS-SVC-NAM-2 ブレードにのみあてはまります。



(注) BIOS イメージは NAM のメンテナンス イメージにバンドルされています。

NAM メンテナンス イメージ ソフトウェアには、BIOS のアップグレード ソフトウェアも含まれています。 **show version** コマンドにより 4.0-Rel 6.0.9 より前の BIOS バージョンが示された場合、次の BIOS アップグレード実行手順を参照してください。

**ステップ 1** メンテナンス イメージになるよう NAM をブートします。スーパーバイザ CLI で次のコマンドを入力します。

**hw-module module <module-number> reset cf:1**

**ステップ 2** NAM が新しいメンテナンス イメージをブートした後で、次のスーパーバイザ CLI コマンドで NAM モジュールのセッションを開始します。

**session slot <module-number> processor 1**

**ステップ 3** ユーザ *root* (デフォルト パスワード *cisco*) でログインします。

**ステップ 4** メンテナンス イメージ用に *guest* アカウント (デフォルトではディセーブルになっている) をイネーブにします。NAM メンテナンス CLI で次のコマンドを入力します。

**enable-guest**



(注) BIOS アップグレード手順は、*guest* アカウントでのみ実行できます。

**ステップ 5** NAM CLI からログアウトします。

**ステップ 6** ユーザ *guest* で再度ログインします。

*guest* アカウント用のデフォルト パスワードは *cisco* です。



警告

新しい BIOS が設定されている間は、この手順を中断することはできません。設定が完了するまで、電源を切断したり、NAM をシャットダウンしたりしないでください。

手順は通常 2 分未満で完了し、「BIOS programming complete」などのメッセージが表示されます。

**ステップ 7** *guest* アカウントでログインしているときに、次のコマンドを入力して BIOS アップグレード手順を開始します。

**upgrade-bios**

**ステップ 8** 設定する BIOS ファイルのファイル名を入力するよう求められたら、次のファイル名を入力します。

**B01MQ009.ROM**



(注) 前記のファイル名で、文字 *O* を使用する **.ROM** 拡張子以外は、文字 *O* でなく 数字の *0* を使用してください。

次の出力は、この手順の例を示しています。

```

guest@nam-test.cisco.com#upgrade-bios
Enter filename of BIOS file to be programmed: B01MQ009.ROM
Write BIOS File B01MQ009.ROM to Flash
```

WARNING: Removing or powering down this module during BIOS programming may result in the module unable to come online!



```
Erasing old BIOS...
Programming new BIOS...DONE
Verifying new BIOS...DONE
```

```
BIOS programming complete
guest@nam-test.cisco.com#
```

- ステップ 9** NAM CLI からログアウトし（スーパーバイザ CLI に戻る）、次のようなコマンドを入力して、NAM アプリケーション イメージをブートします。

```
hw-module module <module-number> reset hdd:1
```

- ステップ 10** **show version** コマンドを入力して、BIOS が正常にインストールされたことを確認します。

```
show version
```

**show version** コマンドの出力の例を次に示します。

```
BIOS Version: 4.0-Rel 6.0.9
```

この **show version** コマンドの出力は、最新の BIOS バージョン（4.0-Rel 6.0.9）がインストールされたことを示しています。

これで、NAM アプリケーション イメージをリブートして、通常の NAM 運用を再開できます。

## Catalyst 6500 シリーズ スイッチ用の ROMMON のアップグレード

Cisco ルータの ROM モニタ（ROMMON）は、ルータが電源投入されたりリセットされたりすると、実行されます。このファームウェアは、プロセッサ ハードウェアの初期化とオペレーティング システムのブートを助けます。ROM モニタを使用して、忘れたパスワードの回復やコンソール ポートでのソフトウェアのダウンロードなどの設定作業を実行できます。ルータに Cisco IOS ソフトウェア イメージがロードされていない場合は、ROM モニタがルータを実行します。

NAM-3 プレード用の BIOS イメージおよび ROMMON イメージは、互いにバンドルされており、常に単一のプロセスでインストールされます。BIOS ディスクの TFTP ユーティリティを使用して、TriX86 Boot Firmware を更新するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** **biosdisk\_tri\_x\_y\_z.bin** を TFTP サーバにコピーします。
- ステップ 2** ローカルの TriX86 コンソールに接続します。
- ステップ 3** 自動ブート モードを使用している場合は、TriX86 ROMMON が開始されます。
- ステップ 4** TFTP ネットワークの外部イーサネット インターフェイス ポート（ない場合は、ROMMON のデフォルト ポート）を選択します。これは、ROMMON CLI で **interface** コマンドを使用して行います。
- ステップ 5** ROMMON TFTP パラメータを設定します。
- ローカル ポートの IP アドレス : **addr** w.x.y.z
  - サーバの IP アドレス : **serv** w.x.y.z
  - ゲートウェイの IP アドレス（該当する場合） : **gate** w.x.y.z
  - TFTP サーバ上のファイル パス : **file** userid/biosdisk\_tri\_x\_y\_z.bin
  - NAM 管理 VLAN : **vlan** x

- ステップ 6 ping (**ping server** または **ping w.x.y.z**) を使用して、サーバへの接続を確認します。
- ステップ 7 TFTP は、**ftpdnld** コマンドを使用して BIOS ディスク ユーティリティをブートします。
- ステップ 8 BIOS ディスクは自動的に SPI フラッシュからのブートを再設定し、BIOS ディスクの CLI プロンプトで停止します。インストールが完了したら、NAM をリセットするため、**reboot** を入力します。

## NAM-3/SUP2T 用の NAM FPD イメージのアップグレード

NAM-3/SUP2T ユーザの場合、新しい NAM-3 を SUP2T シャーシおよび Cat6K-E シャーシとともにインストールすると、ログに FPD エラーが表示される場合があります。**show mod** は、NAM-3 が電源切断状態にあることを示します。この問題を解決するには、以下の詳細な手順を実行します。

NAM 5.1(2) には、スイッチの Cisco IOS ソフトウェアを使用してアップグレードできる別の FPD イメージが同梱されています。

- 「[FPD のアップグレードが必要かどうかの確認](#)」 (P.18)
- 「[FPD イメージのみのアップグレード](#)」 (P.19)

### FPD のアップグレードが必要かどうかの確認

スイッチの **show hw-module all fpd IOS** コマンドを使用して、FPD のアップグレードが必要かどうかを確認します。

NAM に必要最低限のバージョン (NAM 1.10) がある場合は、追加アクションは不要です。FPD イメージパッケージをアップグレードする必要がある場合は、次のステップに進んでください。

次の非 VSS 環境のサンプル出力は、NAM が最低のバージョン要件を満たしていないことを示しています。

```
Router# show hw-module all fpd
=====
Slot Card Type H/W Field Programmable Current Min. Required
Ver. Device: "ID-Name" Version Version
=====
 1 WS-SVC-NAM-3-K9 1.0 1-TRISUL FPGA 1.8 1.10
=====
```

VSS 環境の場合は、**show hw-module switch <#> all fpd** コマンドを使用してください。

### Cisco IOS イメージおよび FPD イメージのアップグレード

Cisco IOS イメージをアップグレードする場合、スイッチをリロードしたときに、NAM に FPD が自動的にインストールされるよう、ローカルのフラッシュメモリ (disk0: または bootdisk:) に新しい FPD イメージをロードすることもできます。

#### 手順の詳細

- ステップ 1 スwitchの **show running-config IOS** コマンドの出力を調べて、FPD の自動アップグレード機能がイネールになっていることを確認します。

出力で "upgrade fpd auto" と表示された行を探します。出力に **upgrade** コマンドがない場合、**upgrade fpd auto** がデフォルト設定であるため、この設定がイネーブルになります。自動アップグレードがディセーブルになっている場合は、**upgrade fpd auto** コマンドを使用して自動 FPD アップグレードをイネーブルにします。

**ステップ 2** Cisco.com のログインをお持ちの場合は、次の Web サイトから FPD イメージを入手できます。

<http://www.cisco.com/cisco/software/release.html?mdfid=283933147&flowid=29364&softwareid=280805682&release=15.0.1-SY1&relind=AVAILABLE&rellifecycle=ED&reltype=latest>

**ステップ 3** FPD イメージ パッケージをスイッチのローカル フラッシュ メモリにダウンロードします。

フラッシュ メモリへのファイルのダウンロードの詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。



(注) システムの FPD 関連の設定は変更しないでください。**upgrade fpd path** コマンドのデフォルト設定が変更されている場合は、このコマンドの **no** 形式を使用して設定をデフォルト設定に戻します。

**ステップ 4** 次の Web サイトから Cisco IOS イメージを入手します。

<http://www.cisco.com/cisco/software/release.html?mdfid=283933147&flowid=29364&dvid=282804709&softwareid=280805685&release=15.0.1-SY1&relind=AVAILABLE&rellifecycle=ED&reltype=latest>

新しい IOS イメージのロードの詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。

**ステップ 5** 新しい IOS イメージを使用してスイッチをリロードします。

Cisco IOS は、ブート後にフラッシュから FPD イメージ パッケージを検索します。スイッチは、Cisco IOS ブート プロセスの一環として FPD イメージを自動的に更新します。

## FPD イメージのみのアップグレード

Cisco IOS イメージをアップグレードする必要がない場合は、FPD イメージを別途アップグレードすることができます。

### 制約事項

FPD イメージがローカルのフラッシュ メモリに存在していることが必要です。FTP または TFTP を使用したリモート アップグレードはサポートされていません。

### 手順の詳細

**ステップ 1** Cisco.com のログインをお持ちの場合は、次の Web サイトから FPD イメージを入手できます。

<http://www.cisco.com/cisco/software/release.html?mdfid=283933147&flowid=29364&softwareid=280805682&release=15.0.1-SY1&relind=AVAILABLE&rellifecycle=ED&reltype=latest>

**ステップ 2** FPD イメージ パッケージをスイッチのフラッシュ メモリにダウンロードします。ローカルのフラッシュ ディスク (disk0: または bootdisk:) を使用することを推奨します。

フラッシュ メモリへのファイルのダウンロードの詳細については、スイッチのマニュアルを参照してください。

**ステップ 3** 次のコマンドを使用して、FPD イメージ パッケージの内容を確認します。

```
Router# show upgrade fpd file file-url
```

*file-url* 引数は、FPD イメージ パッケージ ファイルのロケーションおよび名前です。たとえば、次のコマンドでは、イメージの確認に成功しています (NAM の TRIFECTA カードタイプを参照)。

```
Router# show upgrade fpd file disk0:<c6500-fpd-pkg.1.10.pkg>

Cisco Field Programmable Device Image Package for IOS
C6500 Family FPD Image Package (c6500-fpd-pkg.1.10.pkg), Version 15.0(0)SY99.41
Copyright (c) 2004-2012 by cisco Systems, Inc.
Built Thu 19-Apr-2012 14:46 by integ
```

```
===== Bundled FPD Image Version Matrix =====
```

| Supported Card Types    | ID | Image Name        | Version | Min. Req. H/W Ver. |
|-------------------------|----|-------------------|---------|--------------------|
| 2-port T3/E3 Serial SPA | 1  | T3E3 SPA ROMMON   | 2.12    | 0.0                |
|                         | 2  | T3E3 SPA I/O FPGA | 0.24    | 0.0                |
|                         | 3  | T3E3 SPA E3 FPGA  | 1.4     | 0.0                |
|                         | 4  | T3E3 SPA T3 FPGA  | 1.4     | 0.0                |
| 4-port T3/E3 Serial SPA | 1  | T3E3 SPA ROMMON   | 2.12    | 0.0                |
|                         | 2  | T3E3 SPA I/O FPGA | 0.24    | 0.0                |
|                         | 3  | T3E3 SPA E3 FPGA  | 1.4     | 0.0                |
|                         | 4  | T3E3 SPA T3 FPGA  | 1.4     | 0.0                |
| ...                     |    |                   |         |                    |
| TRIFECTA                | 1  | Trifecta DPFPGA   | 1.10    | 0.0                |

**ステップ 4** 次のコマンドを使用して FPD をアップグレードします。

```
Router# upgrade hw-module slot slot-number fpd file file-url
```

*slot-number* 引数は、NAM のシャーシ スロット ロケーションを示しています。*file-url* 引数は、FPD イメージ パッケージ ファイルのロケーションおよび名前です。たとえば、スロット 2 の NAM をアップグレードするには、次のコマンドを入力します。

```
Router# upgrade hw-module slot 4 fpd file disk0:<c6500-fpd-pkg.1.10.pkg>
% The following FPD will be upgraded for WS-SVC-NAM-3-K9 (H/W ver = 1.1) in slot 4:
```

```
=====
```

| Field Programmable Device: "ID-Name" | Current Version | Upgrade Version | Estimated Upgrade Time |
|--------------------------------------|-----------------|-----------------|------------------------|
| 1-TRISUL FPGA                        | 1.8             | 1.10            | 00:06:30               |

```
=====
```

- % NOTES:
- Use 'show upgrade fpd progress' command to view the progress of the FPD upgrade.
  - Since the target card is currently in disabled state, it will be automatically reloaded after the upgrade operation for the changes to take effect.

WARNING: The target card will be reloaded in order to start FPD image upgrade. This action will interrupt normal operation of the card. If necessary, ensure that appropriate actions have been taken to redirect card traffic before starting the upgrade operation.

```
% Are you sure that you want to perform this operation? [no]: yes
% Reloading the target card for FPD image upgrade ... Done!
```

```
% Upgrade operation will start in the background once the target card gets
 initialized after the reload operation. Please wait ...
 (Use "show upgrade fpd progress" command to see upgrade progress)
```

**ステップ 5** 次のコマンドを使用して、FPD のアップグレードが完了したことを確認します。

```
Router# show upgrade fpd progress
```

次の例は、FPD のアップグレードが進行している様子を示しています。

```
Router# show upgrade fpd progress
```

FPD Image Upgrade Progress Table:

```
==== =====
 Approx.
Slot Card Type Field Programmable Time Elapsed
 Device : "ID-Name" Needed Time State
==== =====
 2 WS-SVC-NAM-3-K9 1-TRISUL FPGA 00:06:30 00:00:24 Updating...
==== =====
```

次の例は、FPD のアップグレードがすでに停止し、完了したことを示しています。

```
Router# show upgrade fpd progress
```

```
% There is no FPD image upgrade in progress.
```

**ステップ 6** 以下のコマンドのいずれかを使用して、FPD のアップグレードが成功したことを確認します。

```
Router# show module
```

または

```
Router# show module switch <#>
```

```
Mod Ports Card Type Model Serial No.

 1 24 CEF720 24 port 1000mb SFP WS-X6824-SFP SAL1533MAUM
 2 24 CEF720 24 port 1000mb SFP WS-X6824-SFP SAL1533MAU0
 3 16 CEF720 16 port 10GE WS-X6816-10GE SAL1549XGLV
 4 4 Trifecta NAM Module WS-SVC-NAM-3-K9 SAL1552ZJAH
 6 5 Supervisor Engine 2T 10GE w/ CTS (Acti VS-SUP2T-10G SAL160855QC
```

```
Mod MAC addresses Hw Fw Sw Status

 1 0007.7d90.55a8 to 0007.7d90.55bf 1.0 12.2 (18r) S1 15.0 (1) SY1 Ok
 2 0007.7d90.53f8 to 0007.7d90.540f 1.0 12.2 (18r) S1 15.0 (1) SY1 Ok
 3 70ca.9bc5.75c0 to 70ca.9bc5.75cf 1.1 12.2 (18r) S1 15.0 (1) SY1 Ok
 4 e8b7.4829.3140 to e8b7.4829.314f 1.1 12.2 (50r) SYL 15.0 (1) SY1 Ok
 6 588d.098a.d6e6 to 588d.098a.d6ed 1.2 12.2 (50r) SYS 15.0 (1) SY1 Ok
```

```
Mod Sub-Module Model Serial Hw Status

 1 Distributed Forwarding Card WS-F6K-DFC4-A SAL1538QPEG 1.1 Ok
 2 Distributed Forwarding Card WS-F6K-DFC4-A SAL1538QPET 1.1 Ok
 3 Distributed Forwarding Card WS-F6K-DFC4-E SAL1552ZEWA 1.1 Ok
```

```

4/0 NAM Application Processor SVC-APP-PROC-1 SAL1540RPLV 1.0 Ok
6 Policy Feature Card 4 VS-F6K-PFC4 SAL16084WD3 1.1 Ok
6 CPU Daughterboard VS-F6K-MSFC5 SAL160859J3 1.3 Ok

```

Base PID:

```

Mod Model Serial No.

```

```

4 WS-SVC-APP-HW-1 SAL1552ZJAH

```

```

Mod Online Diag Status

```

```

1 Pass
2 Pass
3 Pass
4 Pass
4/0 Pass
6 Pass

```

Router#

VSS 環境を使用している場合に、使用する IOS コマンドの詳細が必要なときは、「[FPD のアップグレードが必要かどうかの確認](#)」(P.18) を参照してください。

## 制限事項

以下の制限事項および制約事項は、現時点では NAM 5.1(2) ソフトウェア リリースにのみあてはまります。

- 「キャンセル時の NAM によるキャプチャ ファイルの生成」(P.23)
- 「シスコ以外の H.323 音声デバイスおよびコール マネージャでの NAM のサポート」(P.23)
- 「サポートされる ACS バージョン」(P.23)
- 「フロー パケットの NAM データ ポートへの転送」(P.23)
- 「デフォルトの CLI パスワードがない」(P.23)
- 「応答時間および音声品質の分析」(P.23)
- 「Intelligent Application Performance (IAP)」(P.24)
- 「NAM メンテナンス イメージと BIOS のバージョンのチェック」(P.24)
- 「Cisco Nexus 7000 に対する NAM アプライアンスのサポート」(P.24)
- 「NME-NAM の制約事項」(P.25)
- 「NAM 5.1(2) に影響する可能性がある IOS の問題」(P.25)
- 「最新の NAM 5.1(2) の情報」(P.25)

## キャンセル時の NAM によるキャプチャ ファイルの生成

Cisco 2200 シリーズ アプライアンスを使用していて、[Capture] > [Packet Capture/Decode] > [Files] で [Download] ボタンをクリックすると、ダウンロード アクションを受け入れたかキャンセルしたかに関係なく、**xxx.pcap** ファイルが生成されます。これが、Cisco 2200 シリーズ アプライアンスでキャプチャを 1 回行うと、追加のファイルが作成される理由です。別のプラットフォームでキャプチャを行っても、ファイルは作成されません。

## シスコ以外の H.323 音声デバイスおよびコール マネージャでの NAM のサポート

NAM ボイス コール モニタリングは、Avaya など Cisco 以外の音声デバイスおよびコール マネージャの一部では正常に動作しない場合があります。これは、シスコ以外の音声デバイスにのみあてはまりません。Cisco IP Phone および Call Manager では、問題は発生しません。

## サポートされる ACS バージョン

サポートされる ACS サーバのバージョンは、ACS バージョン 5.2、5.1、および 4.2 です。

## フロー パケットの NAM データ ポートへの転送

WS-SVC-NAM-2 または WS-SVC-NAM-2-250S の NAM-2 デバイスを使用する場合は、同じフローの全パケットは同じデータ ポートに転送することを推奨します。



(注) この問題は、WS-SVC-NAM-2 モデルおよび WS-SVC-NAM-2-250S NAM モデルにのみあてはまります。

NAM-2 デバイスには 2 つのデータ ポート (DATA\_PORT1 および DATA\_PORT2) がありますが、これら 2 つのポートで受信されたパケットは、パケットの受信順どおりにはマージされません。特定のフローのパケットが 2 つのデータ ポートに分かれると、アプリケーション応答時間 (ART) メトリックおよび音声品質メトリックの計算が影響を受ける可能性があります。

## デフォルトの CLI パスワードがない

セキュリティ目的上、NAM 4.1 以降では、デフォルトのルート パスワードを用意していません。NAM 5.1(2) のインストール後に、root アカウントのパスワードを指定する必要があります。このパスワードをご使用のサイトのセキュリティ ポリシーに従って保管してください。この root アカウントのパスワードは、ソフトウェアのアップグレードで必要になります。

## 応答時間および音声品質の分析

NAM 5.0 におけるアプリケーション パフォーマンス応答時間および音声品質メトリックの計算は、実際のパケット着信時間およびパケット シーケンスに依存します。パケット ドロップ、重複パケット、または非対称ルーティングの場合、NAM は関連付けられたポーリング間隔で正確な品質メトリックを計算できない可能性があります。

パケットドロップや重複パケットの発生に気づくよう、NAM の **syslog** メッセージおよびシステムアラートに注意を払う必要があります。

## Intelligent Application Performance (IAP)

アプリケーション応答時間 (ART) とも呼ばれる IAP の場合、NAM 5.1(2) が TCP 接続でパケットを処理する方法のため、WAAS データソースでの応答時間のモニタリングには、TCP 接続の最初の応答は含まれません。その理由は、最初の数パケットが、最適化または最適化されていないどのセグメントに属するかを、WAAS 最適化エンジンが確認できないためです。

この問題には、1 つの応答しかない TCP 接続がないかをモニタすることで確認できます。この接続の応答時間はレポートされません。NAM は、複数の TCP 接続の平均応答時間を取ることで、応答時間を決定します。大部分の TCP 接続には複数の応答があるため、この問題は通常、長いモニタリング期間にわたって気づかれていません。

## NAM メンテナンス イメージと BIOS のバージョンのチェック

NAM 5.1(2) ソフトウェアでは、正しい NAM メンテナンス イメージと BIOS のバージョンを使用する必要があります。NAM 5.1(2) ソフトウェア用に推奨する BIOS バージョンは、BIOS 6.0.9 です。

推奨するメンテナンス パーティション (MP) のバージョンは、NAM のモデルによって決まります。各 NAM プラットフォームの推奨メンテナンス イメージについては、表 10 を参照してください。NAM-1 または NAM-2 のメンテナンス イメージのアップグレードについては、[Catalyst 6500 および Cisco 7600 の NAM-1 と NAM-2 メンテナンス イメージ ソフトウェアのアップグレード](#)を参照してください。

## Cisco Nexus 7000 に対する NAM アプライアンスのサポート

Cisco NAM 2200 シリーズ アプライアンス が提供する導入の柔軟性により、ユーザは、Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチのネットワークおよびアプリケーションのパフォーマンスを可視化できる NAM ソリューションが手に入ったこととなります。Cisco NAM 2200 シリーズ アプライアンス には、データおよびアラームのモニタ、レポート、キャプチャなど、Cisco Nexus 7000 シリーズをサポートする NAM のコア機能が用意されています。NAM アプライアンスでは、トラフィック分析、Intelligent Application Performance (IAP) のモニタリング、DiffServ 分析、および音声品質モニタリングなどの機能をサポートします。同じ NAM ソフトウェア イメージは、テスト済みのすべてのインフラストラクチャ デバイスをサポートしています。

Cisco NAM 2200 シリーズ アプライアンス は、Catalyst 6500 シリーズ スイッチなど、他のテスト済みデバイスに提供しているのと同じレベルの管理インターフェイス サポートを提供することはまだできていません。この影響を次の NAM 機能が受けます。

- Nexus 7000 シリーズでの NAM GUI を使用した SPAN セッションの設定。代わりに、このようなセッションを設定するため、スイッチ CLI を使用してください。
- 管理対象デバイスに関するアラームの設定および表示。

NBAR-PD 機能と MPLS 機能は、Nexus 7000 ではサポートされていません。



## NME-NAM の制約事項



(注)

この制約事項は、NME-NAM-120S の内部 NAM インターフェイスでモニタされるトラフィックにのみあてはまります。

NAM は、元のパケットに関するレイヤ 3 以上の情報を提供します。レイヤ 2 ヘッダーは、ルータがパケットを NAM に転送するときにルータにより変更されます。そのため、NAM が記録したレイヤ 2 情報は元のパケットでは該当しません。

## 最新の NAM 5.1(2) の情報

『NAM 5.1(2) User Guide』の最新バージョンを確認するには、[www.cisco.com](http://www.cisco.com) にある Network Analysis Module の技術マニュアルを参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/cscowork/ps5401/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/cscowork/ps5401/tsd_products_support_series_home.html)

## NAM 5.1(2) に影響する可能性がある IOS の問題

IOS の以下の問題は、他のどのソフトウェアバージョンを使用するかにもよりますが、NAM 5.1(2) の使用に影響する可能性があります。

- [NAM GUI を使用した SPAN データ ソースの作成を不可能にする IOS イメージの非互換性](#)
- [冗長スーパーバイザカードで IOS イメージ 12.2\(33\)SRC2 を実行する Cisco 7600](#)
- [12.2\(18\)SXF5 より新しい IOS イメージの実行](#)
- [IOS イメージ 12.2\(33\) SRD で RSPAN および ERSPAN が非サポート](#)

## NAM GUI を使用した SPAN データ ソースの作成を不可能にする IOS イメージの非互換性

スーパーバイザカードおよび IOS イメージ 12.2(18)SXF9/12.2(33)SRB1 の問題により、NAM GUI を使用して SPAN データ ソース (SPAN セッション) を作成できません。(この問題については、[CSCse98807](#) を参照してください)。



(注)

この問題は、IOS イメージ 12.2(18)SXF10 で解決されました。

SPAN セッションを作成するには、スイッチのコマンドライン インターフェイス (CLI) コマンドを使用するか、この IOS の問題を解決する 12.2(18)SXF10 または 12.2(33)SRB2 など、スーパーバイザカードのその他の IOS リリースを使用します。

影響を受けるシステムで NAM GUI を使用して [Setup] > [Data Source] および [Create] を選択し、SPAN セッションを作成しようとしても、宛先ポートの情報は表示されません。このため、SPAN セッションを作成できません。

## 冗長スーパーバイザカードで IOS イメージ 12.2(33)SRC2 を実行する Cisco 7600

12.2(33)SRC2 IOS イメージと NAM サービス ブレードを実行する冗長スーパーバイザカードを搭載した Cisco 7600 シャーシでは、エラー状態が発生する可能性があります。このエラーは、2 つのスーパーバイザカードをシークエンシャルにブートする場合に、セカンダリ（スタンバイ）スーパーバイザカードが正常なスタンバイモードにならないときに発生します。

この問題の詳細については、「Field Notice #63179」を参照してください。



(注) この問題は 12.2(33)SRC3 で解決済みです。

以下の場合には、この問題は発生しません。

- 2 つのスーパーバイザカードを同時にブートする場合
- プライマリスーパーバイザカードがブートした後で、スタンバイスーパーバイザカードをブートする場合
- Cisco 7600 ルータが 12.2SRC1 イメージを実行する場合
- Cisco 7600 シャーシに設置するスーパーバイザカードが 1 つだけの場合

### 問題の症状

プライマリスーパーバイザカードがスタンドアロンとして動作し、セカンダリスーパーバイザカードが RPR モードの場合、Cisco 7600 シャーシは（スタンドアロンスーパーバイザカードが 1 つだけの場合と同様に）正常に動作します。スイッチオーバーにより、セカンダリスーパーバイザカードが正常なスタンバイモードではなくなるため、システムが最大 3 分間使用不能になります。



(注) 両方のスーパーバイザカードを同時にブートする場合、システムはホットスタンバイ状態になります。冗長スーパーバイザカードをプライマリとしてブートし、プライマリを冗長としてブートさせる **redun force-switchover** コマンドを発行すると、プライマリがリブートします。

### 解決策

この問題を解決するには、IOS イメージを 12.2SRC2 から 12.2SRC1 にダウングレードする必要があります。必要に応じてアカウントチームが支援いたします。

## 12.2(18)SXF5 より新しい IOS イメージの実行

12.2(18)SXF5 より新しい IOS イメージに IOS をアップグレードすると、IOS が NAM と SUP の間で SNMP 通信をインバンドから EOBC に切り替えるため、ユーザはセキュリティの問題に対して脆弱になります。

この問題があるため、NAM CLI コマンド **supervisor address <sup-address>** は適用しないでください。NAM からこの設定を削除する場合は、このコマンドを無効にする形式の **no supervisor address** を使用します。



(注) この問題は未解決です。

## IOS イメージ 12.2(33) SRD で RSPAN および ERSPAN が非サポート

IOS イメージ 12.2(33) SRD を使用する場合、NAM 5.1(2) では ERSPAN コマンドは正常に動作しません。この問題にユーザが気づくのは、ERSPAN または RSPAN サブモードの NAM で宛先を設定しようとする場合です。

次のコマンドを発行します。

### destination analysis-module 3 data-port 1

ここで、module 3 は、**monitor session 1 type erspan-destination** コマンドを使用してモニタ対象として設定した NAM です。この設定された宛先が、前記のコマンドで見つかりません。

この問題は、ローカル SPAN（サブモード設定あり）にも影響します。



(注)

この問題は、IOS イメージ 12.2(33) SRD1 以降では解決されました。

## 警告

この項では、NAM 5.1(2) ソフトウェアの未解決の異常について説明します。

- 「NAM 5.1(2) の既知の異常」 (P.27)
- 「NAM 5.1(2) で解決された異常」 (P.31)

既知の問題の詳細については、次の URL にある「Cisco Software Bug Toolkit」にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/home.pl>

## NAM 5.1(2) の既知の異常

表 12 に、NAM 5.1(2) ソフトウェアの既知の異常を示します。異常ごとに、症状の説明、異常が発生する条件、および回避策（存在する場合）が記載されています。

表 12 NAM 5.1(2) の既知の異常

| バグ ID      | 説明                                                                                                                                                                                                                |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| CSCtt02897 | <b>show counter</b> コマンドで表示される間隔が、2 回カウントされる。<br>回避策：表示された間隔を 2 で割って、カウンタの正しい間隔を手動で計算します。                                                                                                                         |
| CSCts99960 | アラームのトリガー時刻がクライアントの時刻に合わせて調整されていない。アラームのクリア時刻は正しく表示される。<br>回避策：クライアントの時刻をシステム時刻と同期してください。                                                                                                                         |
| CSCts99943 | スケジュールのエクスポートが NDE インターフェイスの状態と同じデータにならない。<br>NAM の [Analyze] > [Traffic] > [NDE Interface] に複数の不整合があります。[Schedule Export] の結果が [NDE interface stat] ページと一致していません。これに [% Utilization] が示される場合は、レポートが同じになる必要があります。 |

表 12 NAM 5.1(2)の既知の異常 (続き)

| バグ ID      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| CSCts99874 | DCSP タイプのアラームが NAM に表示されない。<br>NAM のアラームは、DSCP グループにただ 1 つの DSCP 番号が含まれるときに正常に動作します。現在、各 DSCP グループには複数の DSCP 番号が含まれています。この問題を解決するには、システムの定義済み DSCP グループを使用するのではなく、次の手順でユーザ定義の DSCP グループを作成します。<br><ol style="list-style-type: none"><li>ただ 1 つの DSCP 番号を含む新しい DSCP グループを作成します。この DSCP 番号がアラームと関連付けられます。</li><li>新しい DSCP グループに関連付けられる DSCP アラームを作成します。</li></ol> |
| CSCts99743 | [Analyze] > [Voice Call Statistics] ページの [Top N End Points by Packet Loss (%)] チャートおよび [Top N Calls by Packet Loss (%)] チャートで、パケット損失のパーセントが 100 パーセントを超える場合があります。このようなデータは、Call Manager (または Communications Manager?) から NAM に直接送信される。パケット損失の問題を解決するには、CM の設定をチェックしてください。                                                                                        |
| CSCts97278 | [Interface Stat] に一部のエントリ (1 日、1 週間) のインターフェイス名が表示されない。回避策はありません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| CSCts96724 | IOS ルータからの SM-SRE のインストールが失敗する。ヘルパー アプリケーションを使用して NAM をインストールしてください。                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| CSCts96711 | SM-SRE ヘルパーを使用したインストール後に、ネットワークが設定されていないという不必要なエラーメッセージが表示される。このメッセージは無視しても問題ありません。                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| CSCts95931 | Nexus 1K デバイスの NDE データ ソースが自動生成できない。回避策はありません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| CSCts87308 | SUP から NAM ブレードをリブートすると、iSCSI ストレージが未フォーマットになる。<br>回避策: NAM CLI で <b>fsck</b> コマンドを実行し、NAM ブレードをリブートして、マウントされているファイルシステムを読み込みます。                                                                                                                                                                                                                                 |
| CSCts86952 | NAM データ ソースの高度なフィルタの表示上の問題。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| CSCts86302 | syslog サーバを設定しないで syslog アラームのアクションを設定した場合でも、エラーが表示されません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| CSCts81057 | HTTPS サーバをディセーブルすると、エラーメッセージが表示される。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| CSCts80603 | プラットフォームごとのファイル ローテーション オプションのサポートの問題。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| CSCtr92947 | 選択するデータがない場合でも、[Select All] 機能がアクティブになる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| CSCts80133 | V9 Export フィルタの問題。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| CSCts76767 | NAM イメージのインストール後に NME-NAM-120S に対する nbd エラーメッセージが表示される。                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| CSCts73141 | VSB がキャプチャセッションのソースとしてのデータ ポートを削除する必要がある。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| CSCts65530 | 同一の NAM 内で同じラベルが使用可能になっている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| CSCts65528 | 32 ビットのプラットフォームで iSCSI 外部ストレージの制限事項がある。次の作業を行います。 <ul style="list-style-type: none"><li>各 IQN は 1 つの LUN (ディスク) しか持つことができない。</li><li>32 ビットプラットフォームの NAM (NAM-1 および NAM-2) では、64 ビットプラットフォームの NAM デバイスで以前にフォーマットされた外部ストレージを読み込むことはできない。このため、64 ビットプラットフォームと 32 ビットプラットフォームの間で外部ストレージを交換することはできない。</li></ul>                                                      |
| CSCts56389 | NAM-1 または NAM-2 に NAM 5.1(2) をインストールするには、MP 2.1(5) が必要である。MP 2.1(3) ではインストールできない。アップグレードの手順については、 <a href="#">Catalyst 6500 および Cisco 7600 の NAM-1 と NAM-2 メンテナンス イメージ ソフトウェアのアップグレード</a> を参照。                                                                                                                                                                   |
| CSCts47270 | [Application Groups Details] テーブルに 1 つ余計なアプリケーション グループが表示される。                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| CSCts36146 | NAM-3 で DATA COLLECTOR エラーメッセージが表示される。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

表 12 NAM 5.1(2)の既知の異常 (続き)

| バグ ID      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| CSCts28945 | SA export によりメインプロセス (mond) がリブートする。<br>回避策 : SA 用に標準の NBI API を使用してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| CSCtr26475 | [RTP Conversation Details] 画面を起動するために追加のステップが必要である。この [Detailed] 画面を起動するために、ポップアップ ウィンドウで [RTP Conversation Details] をクリックする必要がある。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| CSCts24979 | 5.1(2) NAM-1 および NAM-2 の再フォーマットなしのアップグレードで、読み取り専用であるというエラー メッセージが表示される。これらのメッセージは無視しても差し支えありません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| CSCtr13732 | SNMPv3 をイネーブルにした場合に、管理対象デバイスのヘルス情報およびインターフェイス情報が表示されない。<br>管理対象デバイス機能が SNMPv3 サポートで設定されている場合は、Cisco 22xx アプライアンスと NME-NAM で問題が発生します。<br>22xx アプライアンス :<br><ul style="list-style-type: none"> <li>• [Analyze] &gt; [Managed Device] &gt; [Health] &gt; [Managed Device Information] ページが表示されません。</li> <li>• [Analyze] &gt; [Managed Device] &gt; [Interface] ページが表示されません。</li> </ul> NME-NAM :<br><ul style="list-style-type: none"> <li>• [Analyze] &gt; [Managed Device] &gt; [Health] &gt; [Router Health] ページにファン ステータスがありません。</li> <li>• [Analyze] &gt; [Managed Device] &gt; [Health] &gt; [Router Information] ページが表示されません。</li> <li>• [Analyze] &gt; [Managed Device] &gt; [Interface] ページが表示されません。</li> </ul> |
| CSCtq30121 | VPN-SPA (共有ポートアダプタ) モジュールが存在する場合に、NAM-3 がそのインターフェイスを設定可能な SPAN ソースとして認識しない。ただし、CLI を使用して設定が行われると、ステータスが GUI にレポートされる。<br>回避策はありません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| CSCtq27947 | システム時刻を変更すると、NAM-3 が再起動することがある。<br>回避策はありません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| CSCtq22111 | NAM-3 のリバース telnet セッションでバッファ入出力エラーが表示される。<br>リバース telnet は、Cisco IOS に追加された、NAM 5.0(1T) リリースをサポートする新機能です。これは NAM のコンソールに類似しています。<br>回避策はありません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| CSCtq15493 | hostname を使用すると、nslookup が機能しない場合がある。DNS によって解決できないホスト名があり、いくつかのページで SQL エラーが表示される。問題は、以下のページに表示される。<br><b>[Analyze] &gt; [Response Time] &gt; [Client-Server]</b><br><b>[Analyze] &gt; [Response Time] &gt; [Client]</b><br><b>[Analyze] &gt; [Response Time] &gt; [Server]</b><br><b>[Analyze] &gt; [WAN Optimization] &gt; [Conversation Multi-segments]</b> (GUI には「No data available」と表示されるが、ログ ファイルには SQL エラーが表示される)                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

表 12 NAM 5.1(2)の既知の異常 (続き)

| バグ ID      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| CSCto72361 | <p>サイトの削除後にインタラクティブ レポートが保存できない。</p> <p>NAM で 2 つのサイト (サイト A およびサイト B) を作成し、サイト A をソースとするインタラクティブ レポートを作成、保存して、サイト B をソースとするインタラクティブ レポートを作成、保存してから、サイト A を削除して他方のインタラクティブ レポートを保存しようとする場合、[Submit] ボタンをクリックしても、何も行われません。</p> <p>回避策はありません。</p>                                                                                                                              |
| CSCto59473 | <p>NAM-3 はアラーム トラップをサーバに送信できない。</p> <p>NAM でトラップ サーバを設定して、トラップを送信するよう Alarm アクションを設定している場合に、アラームが発生したとき、サーバをチェックしても、サーバでトラップが見つからない。Alarm と同じサーバにトラップを送信するよう syslog を設定すると、NAM-3 が正常に機能します。</p> <p>回避策はありません。</p>                                                                                                                                                            |
| CSCto59439 | <p>アラーム テーブルで不正確なクリア時刻が表示される。</p> <p>[Alarm Summary] ページ ([Monitor] &gt; [Overview] &gt; [Alarm Summary]) で、スクロール ダウンして Last 50 Alarms テーブルに移動し、[All Alarms] ボタンをクリックして、"All Alarms" テーブルを起動します。新しいアラームがトリガーされたがクリアされていない場合でも、クリア時刻は「-」と表示されます。時間範囲が前の 1 時間以下の場合、それを反映してテーブルには「-」と表示されます。時間範囲が前の 1 時間以上に設定されている場合は、NAM には、トリガー時刻よりも前の不正確なクリア時刻が表示されます。</p> <p>回避策はありません。</p> |
| CSCto54858 | <p>IOS show module の出力の NAM 情報から、一部の情報が欠落している。モジュール 1 ~ 4 のバイパスとモジュール 2 がサブモジュールに欠落していることが、[Mod Online Diag Status] に示される。</p>                                                                                                                                                                                                                                               |
| CSCto46833 | <p>Response Time Details テーブルで、プリファレンスを [Bits] に設定している場合でも、ビット情報とともに [Client/Server Bytes] が表示される。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| CSCto46831 | <p>Internet Explorer 8 ブラウザを使用して NAM GUI を表示し、[Analyze] &gt; [Managed Device] &gt; [NBAR] に移動しても、データが表示されない。</p> <p>回避策は、この機能を使用するために Mozilla Firefox ブラウザを使用することです (Firefox 3.6.x を使用すると、これが動作します)。</p>                                                                                                                                                                     |
| CSCto40292 | <p>キャプチャ セッション アクション NBI が機能しない。このアクションは、NAM が 4.x から 5.x になるときに変更されました。</p> <p>回避策は、キャプチャ アクション用に NAM Web GUI を使用することです。</p>                                                                                                                                                                                                                                                |
| CSCto23030 | <p>VSB/VB NAM が NDE/ERSPAN のトラフィックしか処理できない。NAM で、NDE/ERSPAN ソーストラフィックの音声とビデオがサポートされない。VB/VSB の音声とビデオに関連する設定はすべて無視される。</p>                                                                                                                                                                                                                                                    |
| CSCtn79004 | <p>NAM の [Monitor] &gt; [Traffic Summary] ページで、インタラクティブ レポートの時間範囲が現在から 24 時間未満前の場合、上位 N 位のチャートはすべて問題ないが、時間範囲が現在から遡らずに、たとえば 3 日前のデータを表示するカスタム時間範囲の場合、ホストの上位 N 位のチャートにはデータが表示されない。また、それ以外の場合は、チャートにデータが表示される。</p> <p>これは、長時間 (24 時間以上) のウィンドウでデータを表示しているときに発生します。</p> <p>回避策はありません。</p>                                                                                        |

## NAM 5.1(2) で解決された異常

表 13 に、NAM 5.1(2) ソフトウェアで解決された異常を示します。

表 13 NAM 5.1(2) で解決された異常

| バグ ID      | 説明                                                               |
|------------|------------------------------------------------------------------|
| CSCts90039 | アラーム エントリのクリア時刻表示が解決されました。                                       |
| CSCts80603 | プラットフォームごとのファイル ローテーション オプションのサポートを強化しました。                       |
| CSCts80528 | Remote Storage Volume 機能が削除されました。                                |
| CSCts77400 | リポート後に iSCSI ストレージが正常にマウントされるようになりました。                           |
| CSCts73283 | iSCSI ドライブが SM-SRE NAM に正常にマウントされるようになりました。                      |
| CSCts72997 | 直近の 50 個のアラームが重大度でフィルタされるようになりました。                               |
| CSCts70492 | NetFlow の間隔が短期の集約間隔と同じになりました。                                    |
| CSCts70470 | 10 個の短期間隔ごとでの NetFlow テンプレートの送信が解決されました。                         |
| CSCts67974 | igb モジュールが NAM-3 の /proc/modules に表示されるようになりました。                 |
| CSCts65499 | NAM のリポート後に外部ストレージの [In Use] ステータスが正しく表示されるようになりました。             |
| CSCts64536 | NAM VSB の Show vsb 名に [domain ID] フィールドが表示されなくなりました。             |
| CSCts59168 | NAM のリポート後に Auto-mount iSCSI が正常に動作するようになりました。                   |
| CSCts59034 | レート データ計算のモニタリングが正常に動作するようになりました。                                |
| CSCts54358 | 5.1(2) : ストレージのボタン名、ダイアログ名、CLI 名が変更されました。                        |
| CSCts51205 | 不要な外部ストレージチェック メッセージが表示されないようになりました。                             |
| CSCts51039 | SM-SRE NAM の Show debug counters で NIC カウンタが表示されるようになりました。       |
| CSCts45240 | 外部ストレージ ボリュームがリリースから削除されました。                                     |
| CSCts45031 | WAAS VB がヘルパーから AP イメージを正しくインストールできるようになりました。                    |
| CSCts44687 | SM-SRE の show version コマンドでヘルパー情報が表示されるようになりました。                 |
| CSCts44627 | SM-SRE : ip interface コマンドが正常に動作するようになりました。                      |
| CSCts44336 | ブート実行後に NTP が同期するようになりました。                                       |
| CSCts38823 | ハードディスク要件のオプション [#2] に対して、ヘルパーから新しいメッセージが表示されるようになりました。          |
| CSCts36058 | 変換されたファイルのステータスが正しく表示されるようになりました。                                |
| CSCts33481 | 5.1(2) : /nbi/nbi-capture/swfilter/id/4 の更新フィルタが正常に動作するようになりました。 |
| CSCts33194 | 時間チャートのトラフィック レートが正しく表示されるようになりました。                              |
| CSCts33123 | napatech : NAM のメイン プロセスが各プロセスを正しく終了するようになりました。                  |
| CSCts32090 | 非サポートのプラットフォームで、sync ptp に対する CLI メッセージが実装されました。                 |
| CSCtr29513 | Re-enable iSCSI が正しく動作するようになりました。                                |
| CSCts28945 | NAM のメイン プロセス SA export が正常に動作するようになりました。                        |
| CSCts27520 | 認識不能のサーバ名が解決されました。                                               |
| CSCts21061 | Delete capture file NBI API が正常に戻るようになりました。                      |
| CSCts19431 | UCS 関連の CLI コマンドが 5.1(2) からディセーブルになりました。                         |
| CSCts19159 | 総ディスク容量が正しく表示されるようになりました。                                        |



表 13 NAM 5.1(2) (続き) で解決された異常

| バグ ID      | 説明                                                                                      |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| CSCts14368 | monitor voice & ART (音声と ART のモニタリング) を CLI からディセーブルにすることができるようになりました。                  |
| CSCts13645 | monitor voice (音声のモニタ) の CLI メッセージが改良されました。                                             |
| CSCts09744 | iSCSI のキャプチャが正常に動作するようになりました。                                                           |
| CSCts07155 | 一意のストレージラベルの適用が正常に機能するようになりました。                                                         |
| CSCtr92816 | 5.1(2) CLI.csv-export がプリファレンス設定から削除できるようになりました。                                        |
| CSCtr92627 | 重複するハードウェア フィルタ エントリが生成されなくなりました。                                                       |
| CSCtr68554 | キャプチャされたパケットがすべてキャプチャラップアラウンドモードで表示されるようになりました。                                         |
| CSCtr65354 | [Interface View] ページに、[Analyze] > [Traffic] > [NDE Interfaces] にあるとおりの情報が表示されるようになりました。 |
| CSCtr29549 | CLI が拡張され、デバッグ カウンタが表示されるようになりました。                                                      |
| CSCtr21313 | 2048 ビットとなるよう、SSL キーの生成が変更されました。                                                        |
| CSCtr18947 | WAAS VB のキャプチャがディセーブルになりました。                                                            |
| CSCtr13769 | アプライアンスで NAM のメイン プロセスが正常に動作するようになりました。                                                 |
| CSCtr11513 | Operations Manager から相互起動を行っても、エラー コードが表示されなくなりました。                                     |
| CSCtr08386 | CLI.Preference. の グラフでの棒の数の誤りが解決されました。                                                  |
| CSCtq98631 | NAM アプライアンスの Napatech ドライバが更新されました。                                                     |
| CSCto92535 | CVE-2009-3563 に対する NAM ntp サービスの脆弱性が解決されました。                                            |
| CSCtq87174 | SM-SRE のフル インストールの問題が解決されました。                                                           |
| CSCtq81929 | メモリが 2 GB 以下のプラットフォームで、アップグレードが失敗しなくなりました。                                              |
| CSCtq78774 | show version で、ローカル ディスクとメモリのサイズが正しく表示されるようになりました。                                      |
| CSCtq76567 | WCM/NAM 5.1 アプリケーションの同期が正常に動作するようになりました。                                                |
| CSCtq70471 | Telnet セッションで show tech が正常に機能するようになりました。                                               |
| CSCtq28034 | NetFlow データ エクスポートによるメモリ リークが解決されました。                                                   |
| CSCtq22021 | ホストカンパセーション画面のタイトルが正しく [Cumulative units for Rate] と表示されるようになりました。                      |
| CSCtq14085 | ストレージ サブシステムの一部として iSCSI が追加されました。                                                      |
| CSCtq06446 | NAM 5.0 および 5.1 のスケジュールされるレポートの問題が解決されました。                                              |
| CSCto78831 | NAM-3 : /usr/local/nam/bin/httpd : 47 行目 : 「kill: (6373) - No such process」の問題が解決されました。 |
| CSCtn93651 | 5.0(1T) NAM コンソールで NAM GUI の参照時に発生していた Linux のカーネル パニックの問題が解決されました。                     |

## マニュアルの更新

必要となる重要な情報については、[警告](#)および[制限事項](#)の項を参照してください。このような情報は、製品イメージに同梱されたマニュアルには含まれていません。マニュアルがリリースされた後で、次の情報がこのリリース ノートに追加されました。

- 「[NAM 5.1\(2\) のインストール/設定のガイド/ノートの更新](#)」 (P.33)
- 「[NAM 5.1\(2\) ユーザ ガイドの更新内容](#)」 (P.35)



## NAM 5.1(2) のインストール/設定のガイド/ノートの更新

これらの更新は、次期リリースのプラットフォームのインストール ガイドと設定ガイドに追加されます。

NAM 5.1(2) 用のプラットフォーム固有のインストールおよび設定マニュアルの変更を下記に示します。このリリースの既存の NAM 5.1 ガイドとノートを使用することは可能ですが、それらには以下の変更が含まれていません。

- シスコのインストレーション コンフィギュレーション ガイドの「外部ストレージのインストール および設定」の項には、このリリースで追加された、全プラットフォームに対する iSCSI サポートは含まれていません。[Cisco Prime Network Analysis Module User Guide 5.1\(2\)](#) の「キャプチャ データ ストレージの設定」を参照してください。
- NAM により、全プロトコルを通して 32 基までの LUN がサポートされるようになりました。
- **update-inventory** コマンドが削除されました。SAS および FCoE 用に、ストレージの取り付けと取り外しが自動的に検出されるようになりました。iSCSI にはログイン/ログアウト手順が必要です。手順の詳細については、[外部 iSCSI ストレージの準備](#)を参照してください。

### 外部 iSCSI ストレージの準備

この項では、外部 iSCSI ストレージ情報を NAM で使用できるよう手動で準備する方法の概要を示します。ご使用のベンダーのユーザ ガイドを使用して、必ず iSCSI アレイを適切に設定しておきます。NAM は大部分のアレイ設定には影響されませんが、一部のアレイ設定はアクセシビリティおよびパフォーマンスのうえで重要です。

1. アレイの論理ユニット番号 (LUN) を設定する際に、通常セグメント サイズ設定があります。セグメント サイズを大きくすると、書き込み速度を向上させることができます。セグメント サイズ設定は最大値 (512 KB) に設定することを推奨します。  
1 つのアレイには、複数の LUN を設定することができます。
2. LUN をアレイの iSCSI 修飾名 (IQN) にマップします。各 IQN は、アクセスするホスト (NAM など) の LUN の異なるリストを表します。
3. NAM は、全プロトコルを通して最大 32 の LUN をサポートします。32 ビットの NAM プラットフォームでは、IQN ごとに 1 つの LUN のみをマップしてください。64 ビットのプラットフォームでは、1 つの IQN に複数の LUN をマップすることができます。
4. NAM にも IQN があり、この IQN は iSCSI セッションのホスト側を表します。ホストの読み書きアクセスのため、必ず各 NAM の IQN を LUN にマップします。これは、特定のホストのみがそれらの LUN にアクセスできるよう、セキュリティ上の理由で必要となります。各 NAM には固有の IQN があるため、アクセスを行う必要がある NAM とアクセスされる必要があるターゲット LUN ごとに、このステップを実行してください。使用する CLI コマンドの詳細については、[NAM IQN の特定](#)を参照してください。
5. IP パスに NAM 管理ポートを設定します。詳細については、[ストレージアレイの接続](#)を参照してください。

### NAM IQN の特定

NAM IQN を特定するには、**remote-storage iscsi local-iqn** CLI コマンドを使用します。

```
root@nam.domain# remote-storage iscsi local-iqn
Local iSCSI Qualified Name: iqn.1987-05.com.cisco:WS-SVC-NAM3-6G-K9.00:19:55:07:15:9A
```

## ストレージアレイの接続

iSCSI ストレージアレイの設定後、必ずそれに NAM 管理ポートへの IP パスを設定します。ご使用のベンダーのユーザグループの指示に従って、正しいホスト接続ポートを使用してください。NAM が稼働中でも、アレイを接続することはできます。

一部のアレイには、複数のストレージコントローラモジュールが付属しています。通常、セキュリティのため、各 LUN にモジュールの所有権をマップする必要があります。

NAM は、ストレージアレイの IP アドレスおよび IQN を使用して iSCSI セッションを開始するため、ストレージにログインします。ユーザインターフェイスを使用してストレージアレイを接続するには、次の手順を実行します。

1. NAM Web インターフェイスにログインします。[Data Storage] ページにアクセスするため、[Capture] > [Packet Capture/Decode] > [Data Storage] を選択します。
2. [iSCSI Login] ボタンをクリックし、ターゲットの IP および IQN を入力します。

ストレージテーブルが新しく検出された LUN でリフレッシュされます。

LUN が表示されない場合は、次の操作を実行します。

- **remote-storage iscsi list** の結果をチェックして、iSCSI セッションが正常に開始したことを確認します。
- そうなっていた場合は、ストレージアレイ設定をチェックし、LUN がターゲット IQN にマップされ、NAM の IQN に LUN への読み書きアクセスが付与されていることを確認します。

設定変更を行った場合は、iSCSI セッションからログアウトし、再度ログインします。ログアウトするには、CLI **remote-storage iscsi logout** を使用します。ユーザインターフェイスに LUN が表示されたら、そのうちの 1 つを選択し、[iSCSI Logout] をクリックします。そのターゲットの IQN にマップされているすべての LUN が切断されます。

次の例は、iSCSI セッションを確認する方法を示しています。

```
root@nam.domain# remote-storage iscsi list
Storage ID: 16
 Label:
 Status: Ready
 Protocol: iSCSI
 Target IP: 172.20.122.81
Target IQN: iqn.2011-09:celeros.target11
 Type: LUN
 Model: IET VIRTUAL-DISK
 LUN: 4
 Capacity: 24.98GB
 Available: 24.98GB

Active iSCSI Sessions:
tcp: [8] 172.20.122.81:3260,1 iqn.2011-09:celeros.target11
```

LUN 番号（上記の例では LUN 4）により、同じ IQN の LUN 番号同士を識別することができます。この番号は各 IQN に一意で、このため、異なる IQN の 2 つの LUN が同じ番号を持っていても構わないということです。

これで、NAM 内から iSCSI 外部ストレージを使用することができます。詳細については、『Cisco Prime Network Analysis Module User Guide』を参照してください。

## NAM 5.1(2) ユーザ ガイドの更新内容

ユーザ ガイドにいくつかの更新が行われました。最新情報を確認するには、[Cisco.com](http://Cisco.com) の最新マニュアルを参照してください。

### [Capture Source] フィールド

表 4-3 "Capture Settings Fields" のキャプチャの送信元の使用方法に SM-SRE のサポートが記載されていませんでした。正しい情報は下記のとおりです。

|                |                |                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----------------|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Capture Source | ERSPAN のデータポート | <p>キャプチャの送信元を選択します (1 つまたは複数のチェックボックスをオンにします)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データポート : これは、SPAN、RSPAN、および VACL キャプチャを受け入れます。NME-NAM および SM-SRE の場合は、internal、external、またはその両方です。</li> <li>ERSPAN : Locally terminated を推奨します。</li> </ul> |
|----------------|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## マニュアル

### Cisco Prime ネットワーク解析モジュール ソフトウェア 5.1(2)

この項では、Cisco Prime ネットワーク解析モジュール ソフトウェア 5.1(2) ソフトウェア マニュアルの一覧を示します。次の URL にすべての NAM ソフトウェア マニュアルへのリンクが記載されています。

[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/cscowork/ps5401/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/cscowork/ps5401/tsd_products_support_series_home.html)

以下がマニュアルの一覧です。この順序でお読みください。

- 『Cisco Prime ネットワーク解析モジュール Release Notes』5.1(2)
- 『Cisco Prime ネットワーク解析モジュール User Guide』5.1(2)
- 『Cisco Prime ネットワーク解析モジュール Command Reference』5.1(2)
- 『Cisco Prime ネットワーク解析モジュール Software API Programmer Guide 5.1』
- 『Cisco Prime ネットワーク解析モジュール ソフトウェア 5.1(2) Third Party and Open Source Copyright Notices』



(注)

5.1(2) のマニュアルの一部が改訂されています。全プラットフォームのインストールおよび設定の更新については、「NAM 5.1(2) のインストール/設定のガイド/ノートの更新」(P.33) を参照してください。

## 『Cisco Prime ネットワーク解析モジュール Release Notes』

### OL-25929-03-J

*Cisco Prime Network Analysis Module Release Notes* (この文書) は、ソフトウェアおよびハードウェアの互換性、新機能、要件、および存在している可能性のある異常などの情報を集めたものです。

[http://cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_software/5.1\\_2/release/notes/nam512note.html](http://cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_software/5.1_2/release/notes/nam512note.html)

## 『Cisco Prime ネットワーク解析モジュール User Guide』

### OL-25961-01

『*Cisco Prime Network Analysis Module User Guide*』は、Cisco Prime Network Analysis Module および NAM 5.1(2) ユーザ ソフトウェアの使用方法について説明しています。

[http://cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_software/5.1\\_2/user/guide/nam512\\_ug.html](http://cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_software/5.1_2/user/guide/nam512_ug.html)

## 『Cisco Prime ネットワーク解析モジュール Command Reference』

### OL-24400-01

『*Cisco Prime Network Analysis Module Command Reference*』は、NAM 5.1(2) ソフトウェアでサポートされる NAM デバイスを管理するための NAM コマンドラインインターフェイスの使用方法について説明しています。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_software/5.1\\_2/command/reference/guide/cmdref.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_software/5.1_2/command/reference/guide/cmdref.html)

## 『Cisco Prime ネットワーク解析モジュール Software API Programmer Guide 5.1』

### OL-24408-01

『*Cisco Prime Network Analysis Module API Programmer Guide*』は、NAM システムへの接続に使用可能な API について説明しています。NAM API は、eXtensible Markup Language (XML) インターフェイスを使用して、NAM サーバでデータのプロビジョニングおよび取得を実行するためのメカニズムを提供します。この API は、REpresentational State Transfer (REST) 方式を使用して、XML データを API サーバに送信することで、HTTP または HTTPS で要求 (Web サービス) を実行します。

この API を使用する開発者は、Java などの高級言語またはそれと同等の言語を理解している必要があります。

『*Cisco Prime Network Analysis Module API Programmer Guide*』は、Cisco NAM Technology Center で入手可能です。Cisco NAM Technology Center は、Cisco NAM アプリケーションプログラミングインターフェイス (API) を使用する開発者用のヘルプなど、ダウンロード可能な追加の Cisco NAM サポート コンテンツのオンライン リソースです。この Web サイトには、アプリケーションと Cisco NAM を統合できるようにする情報、手引き、および例が用意されています。また、これは、ユーザが特定分野の専門家とやり取りするためのプラットフォームになります。Cisco NAM Technology Center Web サイトで情報を表示するには、パートナー レベルのアクセス権を持つ Cisco.com アカウントを所有しているか、Cisco NAM のライセンスを所有している必要があります。Cisco NAM Technology Center には、<http://developer.cisco.com/web/nam/home> からアクセスできます。

## 『Cisco Prime ネットワーク解析モジュール ソフトウェア 5.1(2)Third Party and Open Source Copyright Notices』

### OL-25965-01

『Cisco Prime Network Analysis Module 5.1(2) Third Party and Open Source Copyright Notices』は、NAM 5.1(2) で使用されるオープン ソースのサードパーティ製ソフトウェアのすべての著作権表示が示されています。

[http://cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_software/5.1\\_2/copyright/notice/NAM\\_Open\\_Source\\_Documentation5.1\\_2.pdf](http://cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_software/5.1_2/copyright/notice/NAM_Open_Source_Documentation5.1_2.pdf)

## 『Cisco Prime NAM for ISR G2 SRE Documentation』

### OL-24407-01

『Cisco Prime Network Analysis Module (NAM) for ISR G2 SRE Installation and Configuration Note』は、ISR G2 SRE での NAM のインストールおよび設定の詳細手順を説明しています。5.1(2) での更新については、「NAM 5.1(2) のインストール/設定のガイド/ノートの更新」(P.33) を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_software/5.1/sm\\_sre/SM\\_SRE\\_incfg\\_5\\_1.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_software/5.1/sm_sre/SM_SRE_incfg_5_1.html)

## 『Cisco 2200 Series NAM Appliance Documentation』

この項では、Cisco 2200 シリーズ NAM アプライアンスのマニュアルについて説明します。

- 『Quick Start and Documentation Guide for the Cisco 2200 Series NAM Appliance』
- 『Installation and Configuration Guide for the Cisco NAM 2204 Series Appliance』
- 『Installation and Configuration Guide for the Cisco NAM Series 2220 Appliance』
- 『Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco NAM 2200 Series』

## 『Quick Start and Documentation Guide for the Cisco 2200 Series NAM Appliance』

### 78-18440-01

『Quick Start and Documentation Guide for the Cisco 2200 Series NAM Appliance』は、オンラインで次の URL から入手可能です。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps10113/products\\_documentation\\_roadmaps\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps10113/products_documentation_roadmaps_list.html)

このドキュメントでは、NAM アプライアンスおよび NAM ソフトウェアのマニュアルと、NAM アプライアンスの使用を開始する方法が示されています。

## 『Installation and Configuration Guide for the Cisco NAM 2204 Series Appliance』

### OL-24404-01

『Installation and Configuration Guide for the Cisco NAM 2204 Appliance』では、NAM 2204 アプライアンスを設置および設定するための情報を提供します。このガイドでは、アプライアンスの設置、電源およびモニタするデバイスへのアプライアンスの接続、アプライアンスの設定、ログイン、デバイスをモニタするためのアプライアンスの設定開始を行う方法の概要情報および詳細を示します。

『*Installation and Configuration Guide for the Cisco NAM 2204 Appliance*』は、オンライン専用のマニュアルで、次の URL にあります。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_appliance/5.1/2204/instcfg2204.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_appliance/5.1/2204/instcfg2204.html)

## 『Installation and Configuration Guide for the Cisco NAM Series 2220 Appliance』

### OL-24403-01

『*Installation and Configuration Guide for the Cisco NAM 2220 Appliance*』は、NAM 2220 アプライアンスを設置および設定するための情報を提供します。このガイドでは、アプライアンスの設置、電源およびモニタするデバイスへのアプライアンスの接続、アプライアンスの設定、ログイン、デバイスをモニタするためのアプライアンスの設定開始を行う方法の概要情報および詳細を示します。

『*Installation and Configuration Guide for the Cisco NAM 2220 Appliance*』は、オンライン専用のマニュアルで、次の URL にあります。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_appliance/5.1/2220/installation/guide/instcfg2220.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_appliance/5.1/2220/installation/guide/instcfg2220.html)

## 『Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco NAM 2200 Series』

### 78-18308-01

『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco NAM 2200 Series Appliances*』は、NAM アプライアンスに同梱されている印刷済みマニュアルで、オンラインで次の URL から入手可能です。

[http://cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_appliance/regulatory/compliance/nam2200rcsi.html](http://cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_appliance/regulatory/compliance/nam2200rcsi.html)

『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco 2200 Series NAM Appliances*』には、Cisco 2200 シリーズ NAM アプライアンスの法規制の遵守および安全に関する情報が記載されています。

## 『Cisco Prime Network Analysis Module for Virtual Services Blades Documentation』

次の URL には、製品サポート、追加製品資料、ソフトウェア、および Cisco WAAS NAM 仮想ブレードに関する有益な情報へのリンクが記載されています。

<http://www.cisco.com/en/US/products/ps10506/index.html>

次の URL には、製品サポート、追加製品資料、ソフトウェア、および Nexus 1010 NAM 仮想ブレードに関する有益な情報へのリンクが記載されています。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps10846/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps10846/tsd_products_support_series_home.html)

## 『Cisco Prime Network Analysis Module for WAAS VB Installation and Configuration Guide, 5.1』

### OL-24405-01

『Cisco Prime Network Analysis Module (NAM) for WAAS VB Installation and Configuration Guide, 5.1』は、WAAS アプライアンスでの NAM VSB のインストールおよび設定の詳細手順を説明しています。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_virtual\\_blade/5.1/install/guide/waas/waas51install.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_virtual_blade/5.1/install/guide/waas/waas51install.html)

## 『Cisco Prime Network Analysis Module (NAM) for Nexus 1010 Installation and Configuration Guide, 5.1』

### OL-24406-01

『Cisco Prime Network Analysis Module (NAM) for Nexus 1010 Installation and Configuration Guide, 5.1』は、Nexus 1010 スイッチでの NAM VSB のインストールおよび設定の詳細手順を説明しています。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_virtual\\_blade/5.1/install/guide/nexus/nx51\\_instcfg.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_virtual_blade/5.1/install/guide/nexus/nx51_instcfg.html)

## 関連資料

この項では、Network Analysis Module ソフトウェアに関連するその他のドキュメントの情報を示します。

### NAM-1 および NAM-2

『Catalyst 6500 Series Switch and Cisco 7600 Series Router Network Analysis Module Installation Note, 5.1』

[http://www.cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_software/5.1/switch/configuration/guide/switchcfg.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_software/5.1/switch/configuration/guide/switchcfg.html)

『Catalyst 6500 Series Switch and Cisco 7600 Series Router Network Analysis Module Installation Note, 5.0』

[http://www.cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_software/5.0/switch/configuration/guide/switchcfg.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_software/5.0/switch/configuration/guide/switchcfg.html)

『Catalyst 6500 Series Switch and Cisco 7600 Series Router Network Analysis Module Installation Note, 4.2』

[http://www.cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_software/4.2/switch/configuration/guide/65\\_76cfg42.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_software/4.2/switch/configuration/guide/65_76cfg42.html)

『Catalyst 6500 Series Switch and Cisco 7600 Series Router Network Analysis Module Installation Note, 4.1』

[http://www.cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_software/4.1/switch/configuration/guide/swconfig.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_software/4.1/switch/configuration/guide/swconfig.html)

『Catalyst 6500 Series Switch and Cisco 7600 Series Router Network Analysis Module Installation Note, 4.0』

[http://www.cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_software/4.0/switch/configuration/guide/swinstcfg.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_software/4.0/switch/configuration/guide/swinstcfg.html)



『Catalyst 6500 Series Switch and Cisco 7600 Series Router Network Analysis Module Installation Note, 3.6』

[http://www.cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_software/3.6/switch/configuration/guide/swconfig.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_software/3.6/switch/configuration/guide/swconfig.html)

『Catalyst 6500 Series Switch and Cisco 7600 Series Router Network Analysis Module Installation Note 3.5』

[http://www.cisco.com/en/US/docs/interfaces\\_modules/services\\_modules/nam/nam\\_3\\_5/hw\\_install/78\\_17286.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/interfaces_modules/services_modules/nam/nam_3_5/hw_install/78_17286.html)

## NME-NAM

『Cisco Branch Routers Series Network Analysis Module (NME-NAM-120S) Installation and Configuration Note, 5.1』

[http://www.cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_software/5.1/branch\\_router/configuration/guide/BRincfg\\_51.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_software/5.1/branch_router/configuration/guide/BRincfg_51.html)

『Cisco Branch Routers Series Network Analysis Module (NME-NAM-120S) Installation and Configuration Note, 5.0』

[http://www.cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_software/5.0/branch\\_router/configuration/guide/BRincfg\\_50.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_software/5.0/branch_router/configuration/guide/BRincfg_50.html)

『Cisco Branch Routers Series Network Analysis Module (NME-NAM-120S) Installation and Configuration Note, 4.2』

[http://www.cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_software/4.2/branch\\_router/configuration/guide/BRincfg\\_42.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_software/4.2/branch_router/configuration/guide/BRincfg_42.html)

『Cisco Branch Routers Series Network Analysis Module (NME-NAM-120S) Installation and Configuration Note, 4.1』

[http://www.cisco.com/en/US/docs/net\\_mgmt/network\\_analysis\\_module\\_software/4.1/branch\\_router/configuration/guide/BRincfg\\_120S.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_software/4.1/branch_router/configuration/guide/BRincfg_120S.html)

『Cisco NAM Enhanced Network Modules』

<http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/access/interfaces/nm/hardware/installation/guide/namnme.html>

『Installing Cisco Network Modules and Service Modules』

<http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/access/interfaces/nm/hardware/installation/guide/InstNetM.html>

『Cisco 3800 Series Hardware Installation』

<http://cisco.com/en/US/docs/routers/access/3800/hardware/installation/guide/hw.html>

『Cisco 3700 Series Router Hardware Installation Guide』

<http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/access/3700/hardware/installation/guide/3700hig.html>

『Installing Network Modules in Cisco 2800 Series Routers』

[http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/access/2800/hardware/installation/guide/08\\_hw.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/access/2800/hardware/installation/guide/08_hw.html)



## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『What's New in Cisco Product Documentation』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

